

著作者

[監修]

小原光一(元横浜国立大学教授)

飯沼信義(桐朋学園大学名誉教授)

浦田健次郎(東京芸術大学名誉教授)

[執筆・編集]

石上則子(元東京学芸大学准教授)

勝山幸子(東京都港区立御成門中学校主任教諭)

齊藤忠彦(信州大学教授)

鹿谷美緒子(作曲家)

杉本竜一(作曲家)

杉山利行(神奈川県相模原市立緑が丘中学校総括教諭)

滝口亮介(洗足学園音楽大学名誉教授)

富澤 裕(合唱指揮者)

長谷部匡俊(作曲家)

藤原道山(尺八演奏家)

吉澤 実(リコーダー奏者)

ほか4名

教育芸術社編集部

編集協力

青木鈴慕/伊藤多喜雄/今藤政太郎/今藤政子/植村幸生/

大城 學/大萩康司/北中中和/児玉竜一/小沼純一/

薦田治子/清水寛二/鈴木優人/長木誠司/豊竹呂勢太夫/

中村仁美/西川浩平/長谷川 慎/ヒダノ修一/俵木 悟/

藤本隆文/森重行敏/山田和樹/吉田純子

色彩デザインに関する助言

色覚問題研究グループぱすてる

特別支援教育に関する校閲

田中良広(帝京平成大学教授)

株式会社 教育芸術社

〒171-0051 東京都豊島区長崎1-12-15

TEL. 03-3957-1175(代表)

https://www.kyogei.co.jp/

令和3教

内容解説資料

27 教芸

この資料は、一般社団法人教科書協会の定める「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。

令和3年度  
中学校用  
教科書

内容解説資料

中学生の音楽 ● 中学生の器楽

702・803・804

752

令和3年度

中学生の音楽 ● 中学生の器楽  
内容解説資料



確かな学力を育む教科書で、  
音や音楽に主体的に親しむ中学生に。

教育芸術社

『中学生の音楽2・3上』表紙イラスト

教育芸術社

→ 教育基本法との対応は  
本書 p.56,60 へ

1 生活や社会の中の音や音楽, 音楽文化と豊かに関わることができます

2 三つの資質・能力が確実に身に付きます

3 主体的・対話的で深い学びを実現します

■ 学校教育における今日的な課題に対応しています

SDGs  
→ p.10

ICT  
→ p.38

我が国や郷土の  
伝統音楽  
→ p.14,16

デジタル  
教科書  
→ p.52,55

ユニバーサル  
デザイン  
→ p.39

道徳教育  
人権教育  
→ p.36

国際理解  
→ p.37

目次

改訂のポイント .....2  
表紙には、音や音楽と関わる中学生を描きました .....4

『中学生の音楽』

1 自ら考える力を引き出します .....6  
音楽の本質を考える「音楽ってなんだろう？」 .....8  
音楽の学習を通して社会とつながります .....10  
生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育みます .....12  
郷土の音楽文化を尊重する態度を育みます .....14  
我が国の音楽文化を尊重する態度を育みます .....16  
2 音楽科で身に付けられる資質・能力が一目でわかります .....18  
分かりやすい紙面構成で、確実な学びを実現します .....20  
義務教育9年間の系統的な学びで、資質・能力を育みます .....22  
3 主体的・対話的で深い学びを実現する手立てを示しました .....24  
主体的・対話的で深い学びをサポートします .....26  
体験活動を取り入れ、実感を伴う学びを実現します .....28

『中学生の器楽』

1 器楽の学習を通して社会とつながります .....30  
2 三つの資質・能力を、分かりやすい紙面構成で身に付けます .....32  
3 主体的・対話的で深い学びを実現する手立てを示しました .....34  
『中学生の器楽』のリニューアルポイント .....35

編集上の工夫

道徳教育や人権教育に対する配慮 .....36  
様々な工夫で学びを支えます .....38  
新曲紹介 .....40

資料

年間学習指導計画作成資料(第1学年/第2学年/第3学年) .....42/44/46  
教材と学習指導要領との関連(第1学年/第2学年/第3学年/器楽) .....48/49/50/51  
学習者用デジタル教科書/拡大教科書 .....52  
指導書 .....53  
検討の観点別に見た特色  
教育基本法との関連(中学生の音楽/中学生の器楽) .....56/60  
学習指導要領との関連(中学生の音楽/中学生の器楽) .....57/61  
編集上の工夫や特色(中学生の音楽/中学生の器楽) .....58/62

# 表紙には、音や音楽と関わる中学生を描きました

新しい教科書の表紙では、生徒が主体的に音楽の学びに向き合い、授業に限らず日常生活の中でも音や音楽との関わりを築き、豊かな情操が育まれることを願って、その姿をイラストで表現しました。



1年

朝の通学路。すずめの鳴き声や、遠くで「おはよう」と挨拶を交わす声が聞こえてきます。耳を澄ませば、葉ずれの音や川のせせらぎも聞こえてきて、音にあふれた世界が立ち上がります。



2年

合唱祭を前に、生徒たちはグループになって練習しています。教室に響く歌声や笑い声。風によって遠くの音も聞こえてきます。



3年

未来へのファンファーレ。3年間の音楽体験や学びを経て、生徒の心の中には様々な音や音楽が鳴り響いています。卒業後も、様々な音楽と出会ってほしいという願いをこめて。



器楽

放課後の音楽室。さっきまでにぎやかだった音楽室に西日が差し込み、生徒の爪弾くギター音が静かに響きます。

## 表紙装画：ふすい

イラストレーター、装画家。書籍や児童書、広告、CDジャケット等のイラストを手がける。作品に『青くて痛くて脆い』『70年分の夏を君に捧ぐ』『青いスタートライン』といった新作のほか、『生れ出づる悩み』の新装版等もある。協同組合日本イラストレーション協会 JILLA 組合員。

## 教科書にこめた願い

私たちの生活には、さまざまな音や音楽が満ちあふれています。表紙のイラストでは、そうした音や音楽を光のイメージと重ね合わせて表現しました。身の回りに多様な音や音楽があることに気付き、そこから音楽活動を通して音楽のよさや美しさを感じるとともに、生活や社会・文化などとの関わりについて興味・関心が広がっていくことを願っています。

裏表紙には、教科書にこめた願いを示しました。



教科書の内容解説動画はこちら  
<https://textbook.kyogei.co.jp/r3/pv/>



# 音楽の本質を考える「音楽ってなんだろう？」

人はなぜ歌うのか、演奏するのか、つくるのか。音楽を聴くとはどういうことなのか。  
 世界にはなぜ多様な音楽が存在しているのか——。3年間を通して様々な「なぜ」と向き合い、  
 考えることで視野が広がり、より幅広い価値観を養うことができます。

音楽ってなんだろう？ ～世界をつなぐもの～

音楽は、人がいるところ、どこにでもあります。でも、国や文化によって、音楽もさまざまに異なっています。音色の好みも、音のならば、楽器も違います。異なった文化圏の人からすると、「これが音楽？」とおもえるようなこともあるかもしれません。

こんな人、あんな人、こんなことば、あんなことばがあるように、こんな音楽、あんな音楽があり、それぞれに価値がある。

好きな音楽、嫌いな音楽があります。好きじゃないけどおもしろい音楽、気になる音楽もあるかもしれません。単純に「好き・嫌い」だけでなく、べつの軸をもつことで、それぞれの音楽——だけではなく、人のこと、ことばのこと、など——を尊重できるのではないでしょうか。

こぬまけいいち (音楽・文芸批評家)

- 各学年のテーマ
- 1年 p.4 「世界をつなぐもの」
  - 2年 p.4 「時間とともにあるもの」
  - 3年 p.4 「声や音にのせて」
  - 器楽 p.4 「楽器と人」

# 音楽の学習を通して社会とつながります

音や音楽が、生活や社会、文化 とどのように関わり、どのような意味や価値をもつのかを、生徒が意識的に考えるページを新設しました。

3年 p.68

### 生活や社会の中の音楽

仕事と音楽

社会の中には音楽に関わる仕事がたくさんあります。それらは文化、教育、そして人々を支えています。

レコーディングには、スタジオミュージシャンの他にも、さまざまな立場の人々が関わっています。

歌のあらゆるニーズに応えられるよう、楽器店の店員は楽器に関する豊富な知識をもっています。

お年寄りのための施設では、音楽の力を活用したレクリエーションが積極的に行われています。職員たちは、参加者全員が楽しめるように、楽譜や内容を工夫します。

ピアノの音色や音程を整えるために音を調整する調律師。演奏する人と演奏を聴く人、双方の立場で音をつくり上げます。

### 生活や社会の中の音楽

#### 音楽教育とSDGs(エス ディー ジーズ)

日本では多くの人々が「青年海外協力隊員」や支援団体のスタッフとして海外に渡り、さまざまな分野の教育に関わりながら、現地の教育環境の改善に貢献しています。中でも音楽教育は人々の心を豊かにし、相互の思いを共有するという意味で重要な役割を果たしています。

現在、世界各国や国内の自治体などで、SDGs(Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)と呼ばれる取り組みが行われています。これは2030年までに全世界共通に達成すべき目標をさまざまな視点から掲げたもので、その一つに「質の高い教育をみんなに」というものがあります。

上に挙げたような音楽教育の営みも、「世界各地の人々に質の高い音楽教育を提供する」というSDGsの考え方を反映したものといえるでしょう。

ヨルダンのバスラフ難民キャンプの人々に音楽の楽しさを伝える青年海外協力隊員。(写真:久野真一/JICA)

モザンビークの人々にリコーダーを中心とした音楽を教える青年海外協力隊員。(写真:谷本美加/JICA)

#### 難民キャンプの教育支援に携わる松永晴子さんに伺いました

私が関わるシリア難民キャンプの教育支援の軸には常に、子どもたちの情緒面をサポートする教育がありました。キャンプでは「作文」「演劇」、そして「音楽」の授業をしています。この3教科は必ずしも、心や身体の内面にあるものを表出させることを可能にします。特に「音楽」は、子どもたちの感性を豊かにし、歌や楽器などさまざまな手段で学びを深めることができる教科です。子どもたちが、合唱や音楽などの活動を通して、誰かといっしょに楽しいものをつくり出す楽しさを感じる機会となれば、うれしい限りです。

新設した「生活や社会の中の音楽」では、学年に応じたテーマを設け、音や音楽と生活や社会との関わりについて、徐々に視野を広げて考えられるよう工夫しました。

### SDGsの視点で考える

3年生ではSDGs(持続可能な開発目標)から「質の高い教育をみんなに」を取り上げ、世界各地で音楽教育を支える「青年海外協力隊員」や支援スタッフとして働く日本人の活動を紹介します。

日本とは全く違う環境で音楽教育を受ける世界の子どもたちに思いをはせ、現地の子どもたちにとって、音楽がどのようなもので、どのような役割を果たすのかを考えることで、国際理解や道徳的な心情を養う一助となることを願っています。

1年 p.66「音や音楽の果たす役割」  
「鐘の音」や「サウンドロゴ」といった身の回りの音や音楽が、生活の中で果たす役割を考えます。

2年 p.72「音楽体験を拓くアウトリーチ」  
演奏家などが、ふだん生演奏を聴く機会が少ない人々のところへ出向き、芸術を味わう場を提供する「アウトリーチ」を紹介。演奏家と聴き手が時間や場を共有することの意義を考えます。

3年 p.68「仕事と音楽」  
社会との関わりをより意識できるよう、音楽に関わる仕事を紹介。「音楽教育とSDGs」というコラムでは、よりよい世界を目指すための持続可能な開発目標という観点から、音楽にできることは何かを考えます。

## 震災復興支援

### 歌い継ごう 日本の歌

#### 花は咲く

NHKが行っている、東日本大震災の復興支援プロジェクトの一環としてつくられた歌。作詞者、作曲者はともに宮城県仙台市出身で、岩手県、宮城県、福島県の出身者や関係者が多数参加して歌いました。

Andante ♩=84  
F sus4 F B

1まーつ しーのらーの

しーは なつか しい  
しーは なつか しい

C7sus4/F C7/F B7/F

も あつ た かわ り  
つ けて む くの

### あすという日が

山本鏡子 作詞 / 八木澤教司 作曲

それぞれその部分で、歌詞の感じ、リズムや調、音の響きなどが変化しています。それらの特徴を感じ取り、各部分にふさわしい表現を工夫しましょう。

♩=80ぐらい

お お ぞら を みあ げて ごらん あ の えだ を みあ げて ごらん あお  
みち を みつ めて ごらん あ の くさ を みつ めて ごらん おふ

ぞらに てをのばす ほそいえだ おおきな きのみを ささ えてる い  
れども なおのびる みちのくさ ふまれた あとから めぶ いてる

3年 p.70

1年 p.88

3年 p.64

### ルールを守って音楽を楽しもう!

音楽配信サイトから気に入った曲を家でダウンロードしたよ。僕のお金で買ったのだから何してもいいんだよね! SNSにアップロードしようって。

えーっ、「何してもいい」ということではないと思うけれど…。

音楽が誰のものか、みんなは考えたことがあるかな?

あっ!先生。

#### 著作権とは ～音楽は誰のもの?～

昔さんは創作の授業でさまざまな工夫をして音楽をつくりましたね。これと同様に、どの音楽にも「つくった人」がいるのです。音楽は、つくる人の創造力や努力によって生み出されます。このように、人間が考えてつくったものを「知的財産」といいます。その他に、絵画、小説、詩などの著作物や特許も知的財産です。そして、音楽などをつくった人(著作者)がもっている権利を「著作権」といい、著作者は著作権をもつことが、「著作権法」という法律で定められています。

なるほど!音楽をつくれた人のことを考えれば、この音楽をもっと大切にしようと思えるね。

でも著作権法って難しそうだね。

分かる〜。

基本のルールが分かれば大丈夫!

#### 音楽を利用するときに気を付けること

どの作品にもつくった人がいることを意識することが大切です。まずは、「作品を使う権利は、それをつくった人がもっている」ということを理解しましょう。著作権法では、音楽などを利用するときを守るべきルールを定めています。その基本は、

「音楽を利用するときには、つくった人の許諾を得る」ということです。音楽などの著作物を利用するときは、このことを忘れないようにしましょう。例えば、SNSにアップロードすることはインターネット上に配信するのと同じです。これは著作者の許可なしにはできません。

## 著作権

音楽に関する知的財産権について、生徒に身近な「音楽のダウンロード」を例に、漫画を交えて親しみやすく解説しました。作品や著作者の創造性を尊重する態度を形成し、音楽文化の継承、発展、創造を支えていることへの理解を促します。



# 郷土の音楽文化を尊重する態度を育みます

生徒が興味・関心をもって自分の住む地域の文化に親しむことができるよう、日本各地に伝わる民謡、祭りや芸能を教材として取り上げるとともに、中学生が郷土の祭りや芸能の担い手として活躍している様子を紹介しています。

3年 p.54

## 私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能

皆さんと同じ中学生の中には、地域に伝わる祭りや芸能に取り組んでいる人たちがいます。ここで紹介するそれぞれの取り組みを通して、郷土の伝統文化や歴史を受け継ぐことの大切さを感じ取りましょう。



穀物が豊かに実り、国が栄えることを願う「種蒔き」という演目をする中学生。



保存会の人から、小道具の扱い方を教わる舞人。



「種蒔き」で歌う催馬楽の楽謡。

### 鷺宮催馬楽神楽 (埼玉県久喜市)

鷺宮神社に古くから伝わる神楽です。「催馬楽」とは、平安時代に流行したといわれる歌謡のことで、演目の中でそれらの歌を歌うのが、この神楽の特徴です。笛と太鼓による囃子を伴い、面を着けたり鈴や扇などの小道具を持ったりした舞人が、古式にのっとり舞を披露します。

### 中学生にインタビュー

Q: 取り組んでみようと思ったきっかけは何ですか?  
A: 小学生のときに神社で見たり、郷土資料館で調べたりして興味をもち、実際にやってみようと思いました。  
Q: 舞うときは、どのようなことに気を付けていますか?  
A: 囃子の音をよく聴きながら、いっしょに舞っている人とタイミングを合わせるようにしています。

### 郷土の祭りや芸能に関する言葉

- 【神楽】 神様を招いて、その前で演じる歌や舞。宮中で行われる「御神楽」と、民間で行われる「里神楽」がある。
- 【人形浄瑠璃】 義太夫節など、浄瑠璃(語り物)に合わせて人形を遣う人形芝居。
- 【祭礼】 神社の祭りや、地域の神様などを祀る祭り。山車などの巡行、行列、歌舞などを行う大きな祭りを指すことが多い。

地域に伝わるかけがえのない文化を、私たちが次の時代に大切に伝えていきたいね。



### 阿波人形浄瑠璃 (徳島県)

県内各地に伝えられてきた人形浄瑠璃です。明治時代の中頃には、県内で70以上の人形座が活動していたといわれており、各地域にある神社の祭礼などで上演されていました。文案と同じように、義太夫節に合わせて3人で1体の人形を遣います。文案人形に比べ、かしらが大きいのが特徴です。



これから始まる芝居の紹介をする「口上」役。



顧問の先生といっしょに、人形の動きを確認する中学生。



地元ゆかりの深い「傾城阿波囃門」を上演している様子。

### 中学生にインタビュー

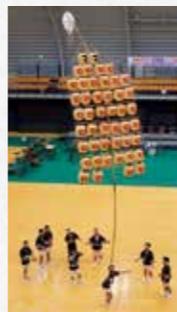
Q: 人形を遣うときは、どのようなことに気を付けていますか?  
A: 役の気持ちを考えながら、3人で呼吸を合わせて遣います。私は左手を担当しているので、かしらの目線に合わせて動かすように心がけています。

### 秋田竿燈まつり (秋田県秋田市)

毎年8月に行われる祭りです。その起源は、真夏の睡魔や悪疫などを払う「眠り流し」という風習だといわれ、穀物の豊作を祈る行事として受け継がれてきました。笛や太鼓などによる囃子と、「ドッコイショ」という掛け声に盛り立てられて、「差し手」と呼ばれる人が、稲穂に見立てた大きな竿燈を巧みに操ります。



差し手の演技を盛り上げる囃子の演奏。



東日本大震災の復興を願って若手県久喜市を訪問し、演技を披露したときの様子。

### 中学生にインタビュー

Q: 「秋田竿燈まつり」は、皆さんにとってどんな祭りですか?  
A: 観光客の皆さんや地域のかたといっしょに盛り上がる事ができる、楽しくてやりがいを感じる祭りです。伝統のある地元の祭りに参加できることを誇りに思っています。

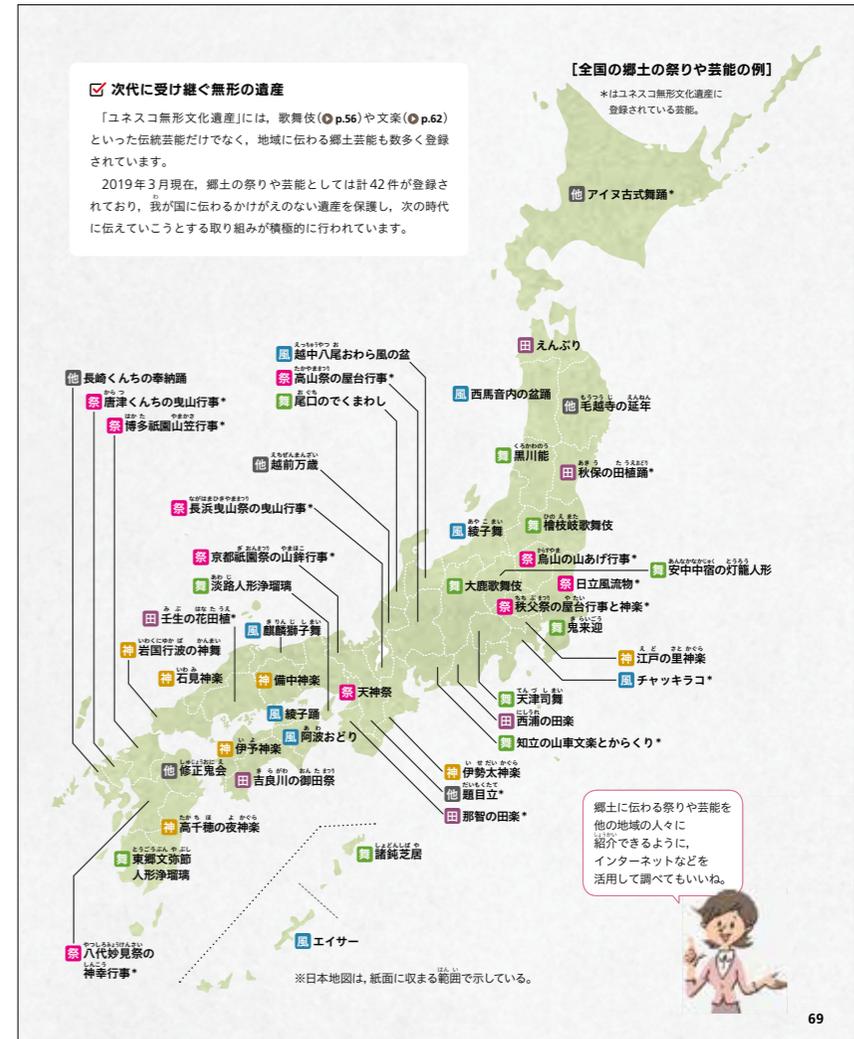
2年 p.69

### 次代に受け継ぐ無形の遺産

「ユネスコ無形文化遺産」には、歌舞伎(● p.56)や文案(● p.62)といった伝統芸能だけでなく、地域に伝わる郷土芸能も数多く登録されています。2019年3月現在、郷土の祭りや芸能としては計42件が登録されており、我が国に伝わるかけがえのない遺産を保護し、次の時代に伝えていこうとする取り組みが積極的に行われています。

### 【全国の郷土の祭りや芸能の例】

\*はユネスコ無形文化遺産に登録されている芸能。



郷土に伝わる祭りや芸能を他の地域の人々に紹介できるように、インターネットなどを活用して調べてもいいね。

### 3年裏表紙

### 私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能



いずも 出雲神楽  
島根県出雲地方  
島根県東部に伝わる神楽です。写真は「八岐大蛇」の説話をもとにした演目で、雲南市海浜地区の中学生が演じています。

各学年の裏表紙にコラムを設けて、地元の祭りや芸能に携わる中学生を紹介しています。

- 1年「小倉祇園太鼓」
- 2年「小松市中学校古典教室」
- 3年「出雲神楽」
- 器楽「佐原囃子」

中学生が地域の人たちと協力しながら祭りや芸能に携わる様子や、どのような思いで取り組んでいるかについて写真やコメントで紹介し、生徒が自分たちの住む地域にも目を向け、愛着をもつことができるよう工夫しました。



# 音楽科で身に付けられる資質・能力が一目で分かります

目次に続くページに、学習指導要領に示された **三つの資質・能力** と、それに対応する学習内容や教材を示した「**学びの地図**」となる内容を配置し、この教科書を通して身に付けられる学力が一目で分かるようにしました。

資質・能力の三つの柱

## 「中学生の音楽1」の学習内容

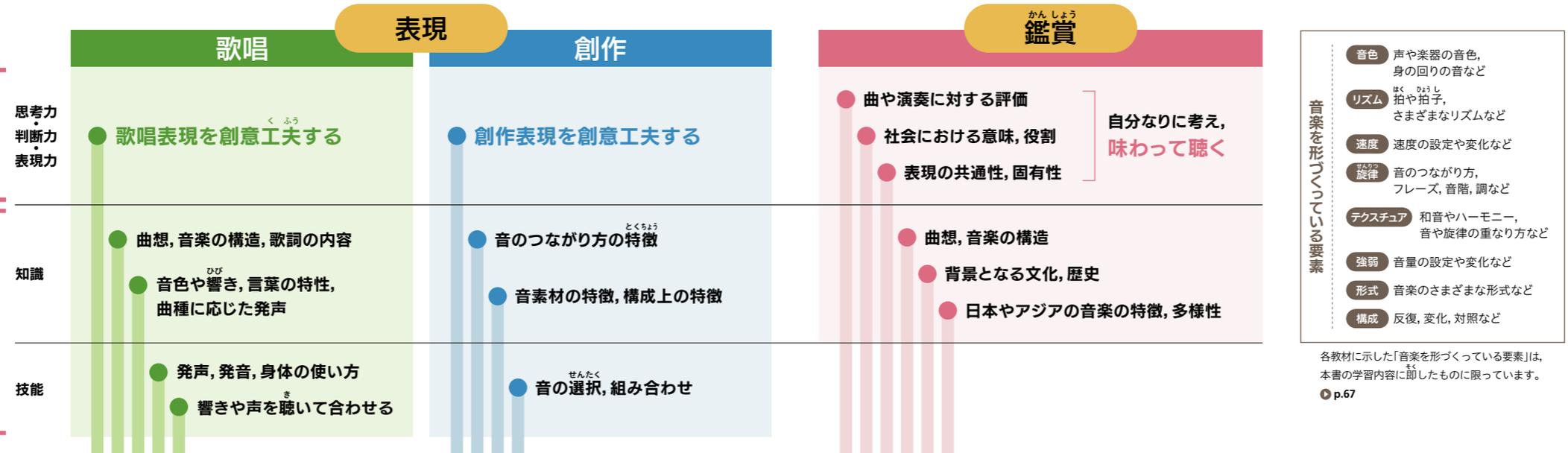
このページでは、皆さんが音楽科で学習する内容を示しています。

学習内容との関連度

学習内容と各教材との関連度の大小は、色の濃さで表しています。



音楽によって生活を明るく豊かなものにしよう



- 音楽を形づくっている要素
- 音色: 声や楽器の音色、身の回りの音など
  - リズム: 拍や拍子、さまざまなリズムなど
  - 速度: 速度の設定や変化など
  - テンポ: 音のつながり方、フレーズ、音階、調など
  - テクスチャ: 和音やハーモニー、音や旋律の重なり方など
  - 強弱: 音量の設定や変化など
  - 形式: 音楽のさまざまな形式など
  - 構成: 反復、変化、対照など

各教材に示した「音楽を形づくっている要素」は、本書の学習内容に即したものに限定しています。  
● p.67

〔共通事項〕に示されている要素  
「音楽を形づくっている要素」

1年間で学習する内容が分かる「学びの地図」。

マイロディ	39
その先へ	12
主人は冷たい土の中に	18
心の歌 浜辺の歌	24
心の歌 赤とんぼ	28
朝の風に	30
君をのせて	32
Let's Search For Tomorrow	34
ソーラン節	60

My Melody	21
Let's Create!	40

ジョーズのテーマ	39
春	44
魔王	48
雅楽「平調 越天楽」	52
華曲「六段の調」	56
日本の民謡	58
アジアの諸民族の音楽	64

それぞれの教材で何を学習するのか確認することができるよ。



生徒にとっては、各教材を通して自分がどのような音楽の力を身に付けられるのかを確認する際の参考に、先生にとっては、1年間の学習指導計画を立てる際の、また、評価規準を考える際の参考にすることができます。

# 分かりやすい紙面構成で、確実な学びを実現します

音楽科における **三つの資質・能力を確実に育成** できるよう、「学習目標」「活動文」「音楽を形づくっている要素」を各教材に設定し、それらが一目で分かるように示しています。

## 学習目標

「何を学ぶか」を明示し、生徒がそれを意識することにより、主体的に学習に取り組むことができます。

## 活動文

学習目標に迫るための具体的な学習活動を例示。

## 音楽を形づくっている要素

「音楽的な見方・考え方を働かせる際の大切な視点となる「音楽を形づくっている要素」を各教材に例示。アイコンではなく【共通事項】に示された文言で記載し、より充実した言語活動につなげます。

曲の構成を感じ取って歌おう。

旋律 強弱 形式 構成

### あるじ 主人は冷たい土の中に (静かに眠れ)

武井君子 日本語詞 / S. C. フォスター 作曲 / 浦田健次郎 編曲

旋律の特徴や強弱の変化に気を付けながら、表現を工夫して歌いましょう。

Andante mp

1 あ おくはれた そ ら し ろ い く も  
2 よ んでもかえ ら ぬ と お い ひ よ

C F C G7 C

そ よ か ぜ や さ し く む か し を か た る }  
は る な つ あ き ふ ゆ つ き ひ は め ぐ }

F C Am D7 G G7

お も い だ す あ の え が お

C CM7 C7 F F#dim7 C G7 C

ね む れ よ し ず か に し ず か に ね む れ

R...アルト リコーダーまたはソプラノ リコーダー ...実音が1オクターブ高いことを示す。

「主人は冷たい土の中に」は1852年に発表された。主人の死を嘆き悲しむ人々を見たフォスターが、その姿に感動して作曲したといわれている。

## 深めよう！ 音楽 曲の構成

- 「主人は冷たい土の中に」を歌って、各段の旋律の特徴や強弱を感じ取り、それらがどこで大きく変化しているかをみんなで考えましょう。
- 1で感じ取ったことを段ごとにまとめよう。楽譜を見ながらそれぞれの特徴について調べ、グループで話し合っ、下の表を完成させよう。

	旋律の特徴 (リズムや音の上がり下がり)	強弱	終わりの音の階名	旋律の雰囲気
1段目	前半は音の高さが大きく変わる旋律	mp	レ	続く感じ
2段目				
3段目				
4段目				

旋律の雰囲気  
旋律は、ドで終わると終わる感じ、ド以外の音で終わると続く感じになります。

表が完成したら、もう一度歌って確かめてみよう。



- 12で確認したことをもとに、表現の仕方を工夫しよう。



リズムが大きく変化している段は、のびやかに歌いたいな。そのためにはどんな工夫をすればいいかな？

息の使い方に気を付けて歌おう。深く息を吸ったらいったん止め、一定の強さで息を吐くと、のびやかに歌うことができるよ。



Challenge!! ♪(フェルマータ)の表現を工夫してみましょう。

4段目には ♪が付いています。♪を付けて歌うことによって、どのような感じがしますか。また、♪のあとは、強弱や速度をどのように工夫するとよいでしょうか。みんなで話し合ってみよう。

## 用語や記号など

学習指導要領の【共通事項】に示されている用語や記号などを、新出時に大きく取り上げています。

アンダンテ  
Andante  
p.97

フェルマータ  
p.97

詳細は p.24,25 をご参照ください。

## 「深めよう！ 音楽」

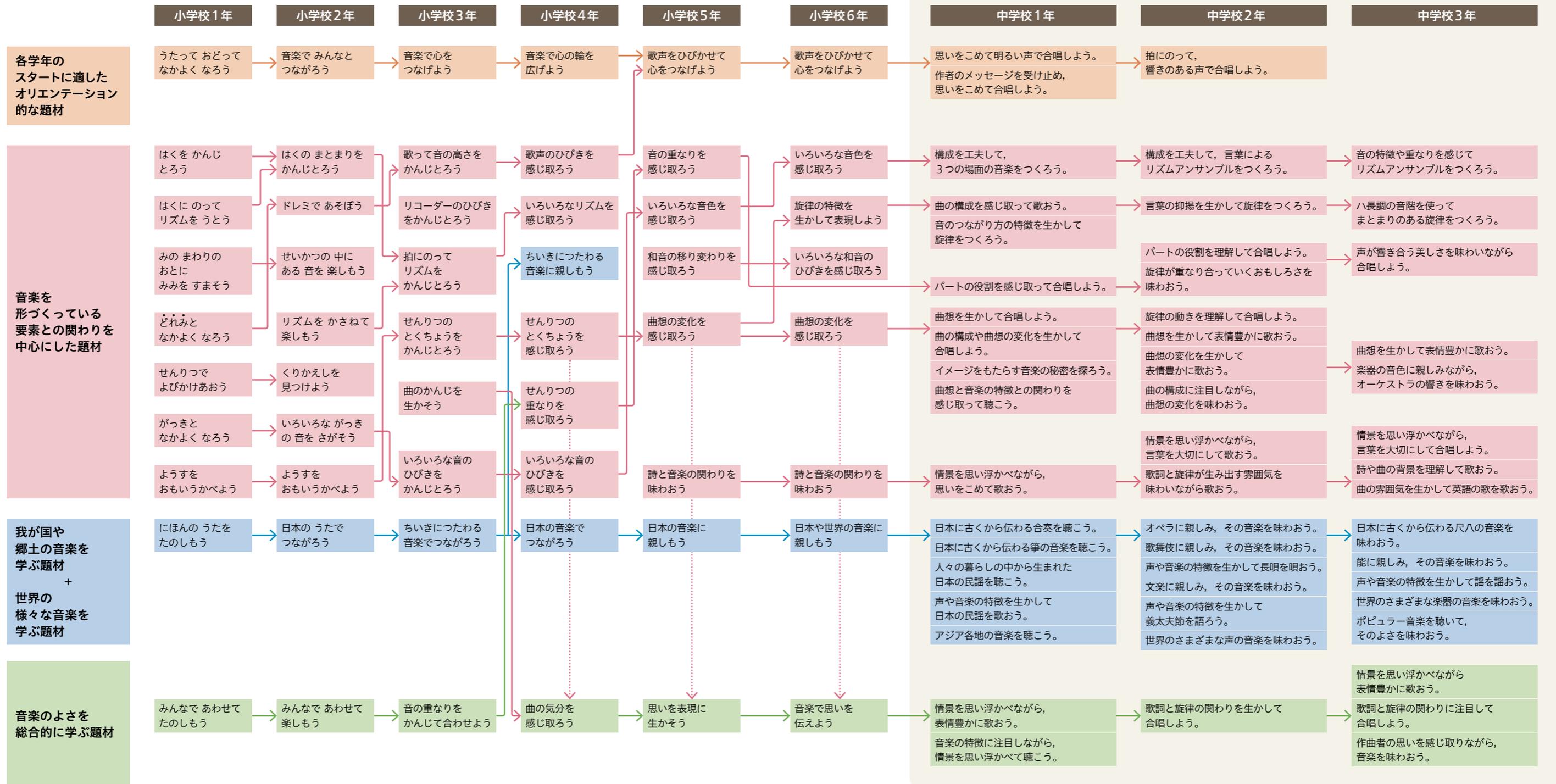
主体的・対話的で深い学びを実現する新コーナーです。手順に沿って学習を進めることで、音楽科における資質・能力を確実に身に付けることができます。

# 義務教育9年間の系統的な学びで、資質・能力を育みます

生徒の発達段階に応じて **三つの資質・能力** を無理なく育むことができるよう、  
**小学校、中学校9年間の系統性と一貫性を重視** して学習内容を配列しました。

※小学校は『小学生の音楽』（令和2年度版）における「題材名」を、中学校は『中学生の音楽』における教材の「学習目標」を示しています。  
 ※小学校における鍵盤ハーモニカやリコーダーの演奏に関する題材は、『中学生の音楽』の内容につながります。

カリキュラムマネジメントの  
 充実にも役立ちます。



中学生の音楽

2 三つの資質・能力が確実に身に付きます

# 主体的・対話的で深い学びを実現する手立てを示しました

教科書の手順に沿って学習を進めることで、**主体的・対話的で深い学び**を実現することができます。  
また、生徒が自分の考えを**ワークシート**に書き込み、整理しながら学習を進めることができます。

主体的・対話的で深い学びを通して、**資質・能力を育成**することができます。

## 歌唱

「深めよう！音楽」で、**主体的・対話的で深い学び**を実現します。

**深めよう！音楽** ● **パートの役割と旋律の重なり方**

**1** 「朝の風に」のパートの役割を確認しましょう。各段のパートの役割を□から選んで、下の表に書き入れましょう。

	主旋律	副旋律
<b>1 段目</b> 女声：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
男声：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>2 段目</b> 女声：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
男声：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>3 段目</b> 女声：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
男声：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>4 段目</b> 女声：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
男声：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>5 段目</b> 女声：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
男声：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

**2** 1段目と2段目を比べて、響きはどのように変わりますか。実際に歌ってみて、響きの違いを感じ取りましょう。

**3** 1・2で調べたことをもとに、歌い方を工夫しましょう。

2段目は男声に加わって全体の響きが厚くなるから、男女ともに豊かな声で歌おうかな。

そうすると、女声だけの1段目はどのように歌ったらいかな？

**4** 3段目はどのような旋律の重なり方になっていますか。リズムに注目して、互いの声を聴き合いながら歌い、旋律の重なり方の違いを感じ取りましょう。

女声が男声を追いかけるようにして重なっている。      女声と男声が同じリズムで重なっている。

互いに呼びかけるような気持ちで、掛け合いがきれいに聴こえるように歌いたいな。

「あふれて」は男女とも同じリズムになるから、ハーモニーをきれいに歌いたいな。

**5** 1～4で考えたことをもとに、4～5段目も工夫して歌いましょう。

1年 p.30

## 鑑賞

鑑賞教材にも「深めよう！音楽」を配置。「聴き取ったこと(知覚)」と「感じ取ったこと(感受)」をワークシートに書き込んで整理し、**深い理解**へと導きます。

**深めよう！音楽** ● **曲想の変化**

**1** 情景を想像しながら「春」を聴いて、曲想を感じ取りましょう。

(1) ①～⑤に当てはまるソネットを(a)～(e)から選んで、下の表に書き入れましょう。

(a) 春がやて来た。  
(b) 東はそよ風に揺られ、ささやき流れていく。  
(c) 鳥聲と陽射が空を走り、雲は春が来たことを告げる。  
(d) 嵐がやむと、小鳥はまた歌い始める。  
(e) 小鳥は楽しい歌で、春を歓迎する。

(2) 音楽を聴き、それぞれの部分について、聴き取ったこと、感じ取ったことを書き入れましょう。

ソネット	聴き取ったこと (設問の特徴や楽器の音色、後、音の変わり方など)	感じ取ったこと
A		
B		
C		
D		
E		

**2** この曲のどのようなところによきを感じましたか。また、その理由も発表し合ひましょう。

①でヴァイオリンの独奏が小鳥の鳴いている様子をもなしているのが特徴的でした。

爽やかな部分と激しい部分の対比がカッコイイと思いました。

1年 p.47

## 創作

創作教材では、**より丁寧に手順を示す**ことで、生徒も先生も無理なく学習を進めることができるよう配慮しました。

**My Melody**

① 課題 (Op.22)に沿って、創意工夫して旋律をつくりましょう。

「主人は冷たい土の中に」(Op.18)の冒頭部分を例に、下に示した音のつながり方を模倣し、どのような感じがあるか話し合ひましょう。

音のつながり方の特徴

①音の高さ  
上行 下行  
②音の長さ  
短い音でつながる 長い音でつながる

③リズム  
④音の強弱

知っている曲や習った曲で、旋律の音のつながり方を調べてみよう。

同じ音や順次進行が繰り返さるからで落ち着いた感じの旋律だね。

ふるさと (Op.70)

1年 p.21

**My Melody**

① リズムチャレンジ (Op.17)でつくったリズムを右のワークシートの①に書き入れましょう。

② I-N-V-Iの和音の動きに合わせて②のリズムを手拍子で打って、つくった旋律の音の動きをイメージしましょう。

③ 音のつながり方を工夫しながら1小節目と2小節目の旋律をつくりましょう。つくった旋律はワークシートの③に書き入れましょう。

④ 音のつながり方を工夫しながら、3～4小節目をつくりましょう。旋律ができたら、工夫した点をワークシートの④に書き入れましょう。

⑤ 中間発表をして、つくった旋律について意見交換をしましょう。

⑥ 意見交換したことを参考に旋律を完成させて、もう一度発表しましょう。

ワークシート

① 旋律をつくるリズム

② ③ ④

⑤ ⑥

⑦ ⑧

⑨ ⑩

⑪ ⑫

⑬ ⑭

⑮ ⑯

⑰ ⑱

⑲ ⑳

㉑ ㉒

㉓ ㉔

㉕ ㉖

㉗ ㉘

㉙ ㉚

㉛ ㉜

㉝ ㉞

㉟ ㊱

㊲ ㊳

㊴ ㊵

㊶ ㊷

㊸ ㊹

㊺ ㊻

㊼ ㊽

㊾ ㊿

コードネーム C F G C

コードネーム C F G C

⑦ 音のつながり方を工夫した点

⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

1年 p.22

1年 p.23



# 体験活動を取り入れ、実感を伴う学びを実現します

生徒が実感や親しみをもって学習を進められるように、体を動かしながら行う体験活動を取り入れました。

## 指揮、リズム打ち

「交響曲第5番 ハ短調」の冒頭部分と提示部の指揮をすることにより、音楽を形づくっている要素の働きについて実感を伴って理解し、鑑賞の学習をより深めることができます。

世界で活躍する指揮者の山田和樹氏に、この曲の指揮をする際のポイントを伺いました。

「ボレロ」では、小太鼓の特徴的なリズムを打ちながら鑑賞し、曲のもつ緊張感を実感することができるようになりました。

2年 p.50

### 指揮をしてみよう!

音楽を指揮で表現して、より豊かな音楽活動につなげよう。

① 「交響曲第5番 ハ短調」を聴こう。

② 冒頭部分の指揮をしよう。  
また、友達に合わせ、冒頭のリズムを手拍子で打ったり、言葉をつけて歌ったりしよう。

③ 続けて、提示部を聴きながら指揮をしよう。  
その際、動機の音型や、下の注目するポイントに気を付けながら、第1主題と第2主題の違いを感じ取ろう。

注目するポイント  
リズム 旋律 強弱 構成

「交響曲第5番」の指揮のポイント

山田和樹さん(指揮者)  
曲の冒頭の「タタタターン」。ここで必要なのは、「絶対に合う!」という確信と勇気です。ためらってはだめです。この部分には、指揮をする人の性格がよく表れます。一人一人異なる音楽になるでしょう。振り方にはいろいろなアイデアがあります。4分の2拍子ですが、テンポが速いので「タタタターン」を1つで振ってもいいし、「ワン・ツー・スリー・フォタタターン」と4拍子のように振るプロの指揮者もいます。自由に振っていいです。みんなのオリジナルの「運命」を表現してみてください。

3年 p.38

### 小太鼓のリズムを打ってみよう。

小太鼓

リズム

A A B B A A B

## 唱歌、伝統的な歌唱

能の学習においては、囃子の唱歌を歌ったり、「敦盛」の謡の一部を実際に謡ったりすることで、能の音楽の特徴を実感するとともに、我が国の伝統音楽への親しみを深めます。

### 中之舞の楽譜

清水寛二 楽譜構成

拍	笛 (小鼓)	大鼓	笛	小鼓	大鼓
1	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ
2	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ
3	ヲ	ハ	ヲ	ハ	ハ
4	ヒ	ヤ	ヒ	ヤ	ヤ
5	イ	ツ	イ	ツ	ツ
6	ヒ	ハ	ヒ	ハ	ハ
7	イ	ツ	イ	ツ	ツ
8	イ	ウ	リ	ラ	ツ

(ツ) (ン) → コミ (● p.49) を取る場所。

3年 p.50

### 謡「敦盛」から

あつ もり (清水寛二 監修) 世阿弥 作 / 清水寛二 採録

模範演奏を聴いたりまねたりしながら声の音色や速度やリズムの変化などを感じ取り、表現を工夫して謡いましょう。

声や音楽の特徴を生かして謡を謡おう。

フシや詞章、謡い方は演奏者によって少しずつ違いがあり、\*のところは、実際に謡うときの発音を表記しています。上の絵譜はその一例です。

演奏者からのアドバイス

清水寛二さん(観世流シテ方)

それぞれの部分で気を付けること

①の部分 拍によって、1音1音の生み字(産み字)をはっきりと、力強く押すような感じで謡います。しだいに速度が上がってきますので、生み字を延ばしている裏間の部分で拍の間隔を詰めていきます。また、フシが上下する「の(り)」の部分にも注意しましょう。

②の部分 「(ン)うーちよればー」「(ツ)ごーざぶねもー」「(ン)ひよーおせんもー」の部分は、「ハシリ」というリズムです。しっかりとコミを取り、の部分で拍の間隔を詰めていきます。

③の部分 拍にのらずに謡います。特に最後の「おーおー」の部分は、船が遠くに行ってしまったことを表現するようなイメージで、大きく謡いましょう。

背筋を伸ばし、おなかの底から息を出すような感じで謡う。

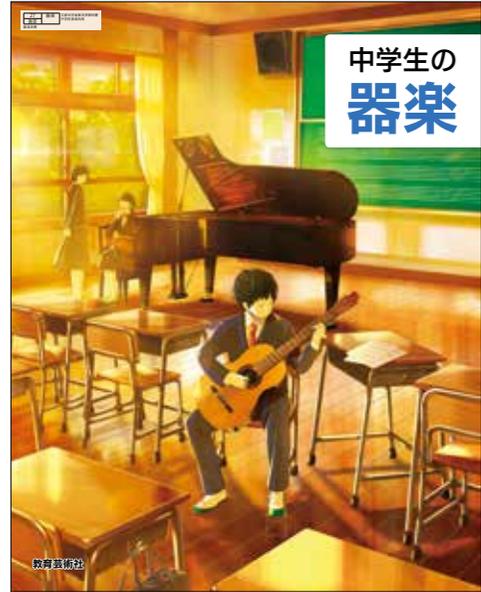
清水寛二さん

3年 p.48

# 器樂の学習を通して社会とつながります

『中学生の器樂』も『中学生の音楽』（音楽一般）と同様、音楽そのものや、生活や社会の中の音や音楽について考える内容を幅広く取り入れています。

器樂表紙



放課後の音楽室

コミュニケーション

器樂 p.2 ピアニスト：反田恭平

**ピアノで語るということ**

ピアノは楽器から育って来たが、ピアニストを目指すには、ピアノを弾くだけでなく、音楽の歴史や文化、演奏の現場を知ることも大切だ。反田恭平さんは、ピアノを通して、音楽の世界とつながりたいという思いで、ピアニストを目指している。

反田恭平  
1998年 兵庫県立音楽コンクール最優秀賞  
2014年 第10回全日本学生音楽コンクール最優秀賞  
2017年 第10回全日本学生音楽コンクール最優秀賞  
2018年 第10回全日本学生音楽コンクール最優秀賞  
2019年 第10回全日本学生音楽コンクール最優秀賞  
2020年 第10回全日本学生音楽コンクール最優秀賞  
2021年 第10回全日本学生音楽コンクール最優秀賞

表紙には、音や音楽と関わる中学生を描きました

→ p.4

器樂 p.4 「楽器と人」

**音楽ってなんだろう？**

音楽は文化の中で育って来た。音楽は、思い思いの文化や習慣の中で育って来た。音楽は、思い思いの文化や習慣の中で育って来た。音楽は、思い思いの文化や習慣の中で育って来た。

音楽の本質を考えると、「音楽ってなんだろう？」という疑問が湧いてくる。音楽は、思い思いの文化や習慣の中で育って来た。音楽は、思い思いの文化や習慣の中で育って来た。音楽は、思い思いの文化や習慣の中で育って来た。

音楽ってなんだろう？

音楽の本質を考える「音楽ってなんだろう？」

→ p.8

# 生活や社会の中の音や音楽に目を向けます

音や音楽が、生活や社会、文化とどのように関わり、どのような意味や価値をもつのかを、生徒が意識的に考えるページを新設しました。

器樂 p.75



同世代の音楽活動

ライブイベント

**和楽器の音楽**

楽しんで！

和楽器の音楽は、和楽器の演奏を通して、和楽器の演奏に取り組んでいる中学生の皆さんを紹介しています。

長瀬太鼓と藤太鼓による演奏です。阪神・淡路大震災からの復興を願って、20年以上にわたり行われている「あじさいコンサート」で、日頃の練習の成果を発表します。

中学生にインタビュー  
Q: 太鼓の魅力は何ですか？  
A: 体の奥に響くような音の迫力です。互いの音を聴き合って、音がピタッと合ったときには「太鼓をやってよかった」と思います。

器樂 p.107

# 生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育みます

在学中、そして卒業後も楽器演奏を含めた音楽活動を続けてほしいという願いをこめて、ギターとキーボードに対応したコード表を資料として掲載しています。

**ギター／キーボード コード表** (この教科書で使用されているコードを主としたもの)

メイジャーコード	C	D	E	F
マイナーコード	Cm	Dm	Em	Fm

コード表

器樂 p.102

# 三つの資質・能力を，分かりやすい紙面構成で身に付けます

目次に続くページに，学習指導要領に示された**三つの資質・能力**と，それに対応する学習内容や教材を示した「**学びの地図**」となる内容を配置し，この教科書を通して身に付けられる学力が一目で分かるようにしました。さらにそれらを**確実に育成**できるよう，「**学習目標**」「**活動文**」「**音楽を形づくっている要素**」を各教材に設定し，一目で分かるように示しています。

## (共通事項)に示されている「音楽を形づくっている要素」

### 資質・能力の三つの柱

**「中学生の器楽」の学習内容**  
このページでは，皆さんが音楽科で学習する内容を示しています。

学習内容との関連度  
学習内容と各教材との関連度の大小は，色の濃さで表しています。

音楽によって生活を明るく豊かなものにし，音楽に親しんでいこう

	器楽	表現	創作
思考力 判断力 表現力	● 曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する		● まとまりのある創作表現を創意工夫する
知識	● 曲想，音楽の構造，曲の背景 ● 音色や響き，奏法		● 音階や言葉の特徴，音のつながり方の特徴 ● 音楽材の特徴，構成上の特徴
技能	● 奏法，身体の使い方 ● 響きや音を聴いて合わせる		● 音の選択，組み合わせ

各教材に示した「音楽を形づくっている要素」は，本書の学習内容に即したものに限定しています。

それぞれの教材で何を学習するのか確認することができるよ。

器楽	表現	創作
聖者の行進 10	My Melody 49	
子になって 12	日本の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう。 49	
風によって 14		
リコーダー 16		
ギター 32		
笛 40		
三味線 50		
太鼓 56		
鍵盤 62		
尺八 66		
打楽器 70		

器楽 p.8

生徒にとっては，各教材を通して自分がどのような音楽の力を身に付けられるのかを確認する際の参考に，先生にとっては，**学習指導計画**を立てる際の，また，**評価規準**を考える際の参考にすることができます。

器楽の学習が見通せる

### 学習目標

「何を学ぶか」を明示し，生徒がそれを意識することにより，主体的に学習に取り組むことができます。

### 活動文

学習目標に迫るための具体的な学習活動を例示。

### 「深めよう！音楽」

主体的・対話的で深い学びを実現する新コーナーです。  
→ p.34

**風によって** ヒダノ郁一作曲

曲の構成を理解し，それぞれの部分にふさわしい表現を工夫して演奏しましょう。

曲の構成

1 曲は①②の2つの部分で構成されています。それぞれの部分で，各パートのリズムや強弱，音の重なり方などの特徴があるの調べましょう。

①の部分について

2のパートがずっと地打ち<sup>1)</sup>をfで演奏しているね。

1のパートは裏打ち<sup>2)</sup>だから，2のパートのリズムによってfで力強く表現したくなるね。

※1 地打ち(裏打ち)→伴奏のリズム  
※2 裏打ち→地打ちに合わせて打つメインのリズム

②の部分について

1と2のパートの強弱はそれぞれどうなっているかな？

リズムや強弱は①の部分と比べてどう変わったかな？

2 演奏順序は①→②→①になっています。①で調べたことをもとに，それぞれの部分の表現の仕方を工夫しましょう。

①と②で変化をつけるにはどう演奏するといふかな？

注目するポイント

テクスチャ(音の重なり方)  
強弱 構成

14

15

器楽 p.14

### 音楽を形づくっている要素

「音楽的な見方・考え方」を働かせる際の大切な視点となる「**音楽を形づくっている要素**」を各教材に例示。アイコンではなく**(共通事項)**に示された文言で記載し，より充実した言語活動につなげます。

器楽の学習を通して，資質・能力や音楽的な見方・考え方を身に付けることができます。

各授業の実践

# 主体的・対話的で深い学びを実現する手立てを示しました

学習の取り組み方を分かりやすく示した「深めよう！音楽」をはじめ、和楽器の表現をより深めるための唱歌の活動、演奏者からのメッセージなど、**深い学びを実現**するための手立てを充実させました。

## 深めよう！音楽 ● パートの役割

- ①～④のパートについて、旋律やリズムなどの特徴を調べてそれぞれの役割を考え、気付いたことをメモしましょう。
 

①の主旋律は、のびやかに歌い上げるような感じだね。

④の低音は、リズムを刻んでいるね。
- 4人以上のグループになり、それぞれのパートに合う楽器を選びましょう。
 

**楽器の例** ソプラノ リコーダー アルト リコーダー 鍵盤ハーモニカ  
 鉄琴 木琴 低音楽器 電子キーボード
- 選んだ楽器で実際に演奏し、全体の響きを確認しましょう。
 

パートによって音の高さを1オクターブ変えると感じが変わるね。

1回目と2回目で楽器や音の高さを変えて、響きを変化させてもいいね。

器楽 p.13



唱歌を取り入れた学習により、**実感**を伴った**深い学び**につながります。

### ろくだん しらべ よだん 「六段の調」から「四段」

(伝)八幡検校 作曲/長谷川 慎 楽譜構成

◎ 唱歌を歌ったり楽器を弾いたりしながら、**箏の音楽の特徴**を感じ取りましょう。

**箏の唱歌**

右の家庭式縦譜に「シャンテン…」と書かれた文字が、箏の唱歌です。奏法や音の感じを言葉で表しており、古くからこれを歌って旋律を覚えたり伝えたりしてきました。また唱歌には、旋律のまとまり(フレーズ)を知らせる役割もあります。

**唱歌を歌ってみよう**

右に示したのは、「四段」の冒頭部分です。模範演奏をまねて歌いましょう。

**歌うときのポイント**

- 拍を取りながら大きな声で歌う。
- 唱歌の右横に「」で示した「旋律のまとまり」に気を付けて歌う。
- 箏の演奏に合わせて唱歌を歌い、曲の流れを感じる。

チ	七	イ	〇
ン		セ	
ツ	六	シ	一ニ三
ン		ン	
テ	七	テ	五
ン		ン	
コ	八	シ	一ニ三
ロ	七	ン	
リ	六	テ	五
ン		ン	
シ	一ニ三	シ	一ニ三
ン		ン	
ツ	七	チ	六ヒ
ン		ン	
ウ	〇	シ	一ニ二
ン		ハ	一ニ三

(箏の演奏) 左手で「シャンテン」を弾き、右手で「ワンテン」を弾く。

器楽 p.46

※ 1年 p.56「六段の調」の鑑賞との関連を図ることができます。

器楽 p.62

演奏者からのメッセージを通して、より**主体的・対話的**に学びに向かうことができるよう工夫しました。

## 篠笛

**篠笛の演奏**

通作 歌舞伎の自由なり

**参考曲**

舟

**楽器を学ぶ**

- その歴史をもち
- 現在で、幅広い
- (p.62)
- 篠竹と名前が

**新保有生さんからのメッセージ**

篠笛はシンプルなつくりの楽器ですが、柔らかい音から華やかな音まで幅広い表現ができます。音色だけでなく指打ちなどの奏法によって、演奏者ごとに全く違う個性をもった音になるところもこの楽器のおもしろさです。

## 『中学生の器楽』のリニューアルポイント

- **ソプラノ リコーダーの扱いが充実しました**
- **打楽器の種類が増えました**  
カホン/ジェンベ/ドラムセット を追加。
- **箏による創作を一新しました**
- **単旋律の補助教材「楽器でMelody」を新設しました**  
S/A/箏/三味線/篠笛 の各楽器に対応。  
※三味線による「荒城の月」では、2年 p.24の同曲の歌唱との関連が図れます。
- **魅力的なアンサンブル曲を掲載しました**  
新曲 「I Got Rhythm」(A+低音楽器+打楽器)  
「笑点のテーマ」(S+G または A+G)  
「One Week」(ボディパーカッション) ほか

S ソプラノ リコーダー A アルト リコーダー G ギター

34

35

中学生の器楽

3 主体的・対話的で深い学びを実現します

# 道徳教育や人権教育に対する配慮

互いの人権を尊重し合うこと、つまり「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」は、人権教育の理念でもあります。教科書で取り上げている楽曲の歌詞の内容や写真については、道徳教育や人権教育の観点に立って、十分に吟味して選んでいます。生徒たちが自分自身のよさや可能性を認識して個性を生かしながら、多様な他者を価値ある存在として尊重し、協働していくことができるよう配慮しました。

**希望と勇気、克己と強い意志**

自分の力で 拓く道だから  
一歩ずつでも 進めばいいよね  
誰かが背中を押してくれるのを  
待ってるだけの昨日から 変わりたいんだ

**友情、信頼**

感じる 心がつながる音がする  
信じる 輝く道を  
さあ 今  
一歩一歩踏み出そう...Yes!  
ずっとずっと見つめよう...Yes!  
取っ払って はい出よう  
これがわたし あなたの 一生懸命

**の観点で  
取り上げることができる歌詞**

Yes!!  
1年 p.76

**My Own Road -僕が創る明日-**  
2年 p.82

今わたしたちは はるかな道を  
未来にむかって 歩みはじめた  
それぞれの夢を 胸にいだいて  
まだ見ぬ場所に 想いをはせる

**忘れることなんかできない**  
3年 p.74

この広い大地で  
僕たちはめぐり逢って  
辛かったこともり越え  
少しずつ想い重ね合えた日  
離ればなれになるのはすごく寂しいけれど  
僕たちの長い旅は まだ  
始まったばかりだから

**We'll Find The Way**  
～はるかな道へ  
1年 p.10

**作者からのメッセージ**  
中学校に入学して、少し大人の仲間入りをしましたね。希望と不安が入り交じった不思議な気持ちなのではないでしょうか？この曲は、そんな皆さんへの応援歌として教科書のために作ったオリジナル曲です。小学校の6年間に比べて中学校での3年間はあっという間に過ぎてしまいます。誰にでも、好きなことや得意なことがあるものです。自分の長所に気付き、未来を思い描いてみてください。そこに向かって努力すればきっと夢は叶います。  
杉本竜一

**自然愛護**

**✓ 自然保護の原点の地**

「夏の思い出」に歌われる尾瀬では、自然保護活動や植生復元、ごみ持ち帰り運動、マイカー規制などの取り組みが熱心に行われています。これらの中には、尾瀬を発祥として全国に広まったものもあることから、尾瀬は我が国における「自然保護の原点」と呼ばれています。

皆さんも、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めましょう。

2年 p.21  
「夏の思い出」

**礼儀**

**✓ 姿勢と礼儀**

上の写真を見てみましょう。奏者の背筋はピンと伸びています。見た目の美しさだけでなく、よい姿勢で演奏することは、よい音を出すことにもつながります。

日本の伝統文化では、「礼に始まり礼に終わる」という言葉があるように、作法を守ったり相手に敬意を表したりすることをとても大切にします。箏も同様で、稽古の始めと終わりに、先生と楽器に対して一礼をする習慣があります。

器楽 p.42 箏(本コラムの上には、「姿勢と構え方」の写真が掲載されています。)

**よりよく生きる喜び**

皆さんも、自分がすばらしいと思うことを大切にしてください。人と違うことを恐れないで。

2年 p.2 「14歳の時間」松任谷由実

**国際理解**

中学生にも身近なオリンピックやパラスポーツの国際試合で国歌「君が代」が歌われる場面を写真で紹介することによって、他国の国歌や国旗も尊重する態度を養えるように配慮しています。



2018年 車いすバスケットボール世界選手権大会の試合前に「君が代」を歌う日本代表選手たち

**国歌・国旗と国際的儀礼**

国歌は国旗と並んで、その国を象徴するものとされています。英語では「National Anthem」(直訳すると「国への賛歌」といいます。

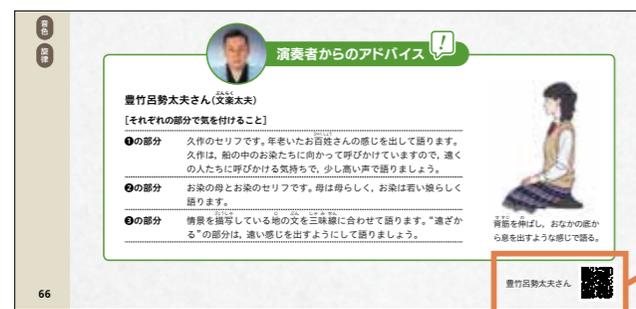
国歌は、国内で行われる式典や行事、大会の他、オリンピック・パラリンピックやスポーツの国際試合など、国際的な場面や場所でもよく歌われます。そこでは自国の国歌だけではなく、他国の国歌も同じように尊重することが国際的な儀礼となっています。

**2018年 平昌オリンピック(フィギュアスケート)の表彰式で「君が代」を歌う羽生結弦選手(中央)と宇野昌磨選手(左)**

# 様々な工夫で学びを支えます

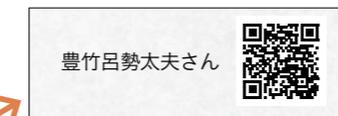
教育芸術社では、全ての生徒にとって使いやすい教科書を目指しています。「音」を扱う教科書ならではの工夫、そして音や音楽で表現するための工夫や配慮についてご紹介します。

## ICT機器を使って 動画や音声などの情報を視聴、閲覧



2年 p.66

「まねて歌う、語る」という日本の伝統音楽で受け継がれてきた学習方法を、映像を通して体験できます。



## 紙、印刷、製本の工夫

目に優しく破れにくい高品質な紙。発色がよく、楽譜の黒色が光らない美しい印刷。繰り返し使用しても崩れず、机や譜面台で開きやすい製本。教科書の内容はもちろん、製作面においても細部まで工夫して作られた教科書です。

ホームページでは、紙、印刷、製本の「トリビア」を紹介しています。  
<https://textbook.kyogei.co.jp/r3/>

# ユニバーサルデザイン(UD)への配慮

## ● UDフォントを全編に使用



UDフォントを全体の9割以上に使用。タイトルや文章だけでなく、楽譜中の歌詞にも使用することで、可読性、可視性が高まり、より学習しやすい教科書になりました。



<https://www.morisawa.co.jp/fonts/udfont/>



<https://fontworks.co.jp/fonts/ud/>

## ● 特別支援教育の視点に立った配慮

歌詞を写真中に入れるときには、無地の部分に配置したり白文字を使用したりすることで、誰もが分かりやすい紙面を目指しました。全体にレイアウトや囲みの形を工夫し、視認性の高い紙面構成となっています。



2年 p.18

## ■ ご協力いただいた方々

色彩デザインに関する助言  
 色覚問題研究グループぱすてる



<http://www.pastel.gr.jp/SHOKAI/jikoshokai.html>

## 特別支援教育に関する校閲

田中良広(帝京平成大学教授)

# 新曲紹介

新しい教科書では、様々な分野で活躍されているかたから、中学生への思いを託した新作をご提供いただきました。ここではその一部をご紹介します。



山崎朋子先生

## その先へ

山崎朋子 作詞・作曲

長年、学校現場で音楽の指導に当たりながら、中学生の心情に寄り添った歌を書いてこられた山崎氏。人と人との絆を感じながら、のびやかに歌える作品。変声期の男子にも最適。

1年 p.12  
同声二部



御徒町風先生

## 友達の友達

御徒町風 作詞 / アベタカヒロ 作曲

森山直太郎氏との歌の共作で知られる御徒町氏と、ポップス寄りの旋律や美しいハーモニーも得意なアベ氏のコンビ。中学1年生の心の機微を描いた歌詞とその繊細な揺れが音となった作品。

1年 p.74  
同声二部



アベタカヒロ先生

## 君は君でいい

里乃塚玲央 作詞 / 森山至貴 作曲

合唱曲やアニメソングの作詞で知られる里乃塚氏と、作曲家であり社会学者でもある森山氏による作品。自分らしさを大切に、そして多様性を受け入れることについて考えさせてくれる。混声合唱の導入にも。

1年 p.80  
混声二部



森山至貴先生

里乃塚玲央先生



## ハートのアンテナ

杉本竜一 作詞・作曲 / 富澤裕 編曲

一体感のあるユニゾンや異なる旋律が重なり合うサビなど、音色の変化が楽しめる。「Believe」「Forever」などで知られる杉本氏の、ビートにのって、はつらつと歌いたい曲。

2年 p.80  
混声三部



杉本竜一先生



富澤裕先生



滝口亮介先生

## One Week

滝口亮介 作曲

言葉とボディーパーカッションのための作品。手拍子、もも打ち、足踏みにのって、「Sunday! Monday!」と1週間で英語で元気よく唱える。長年教育現場に携わってきた滝口氏ならではの一曲。

器楽 p.87  
ボディー  
パーカッション

才木奈津子先生



## この町が好き

才木奈津子 作詞 / 横山潤子 作曲

都会の「街」に憧れていた子どもが住み慣れた「町」を好きになっていく、地域や地元への愛情を確認できる作品。詩情豊かな才木氏の歌詞と横山氏の美しい旋律を味わって歌いたい。

3年 p.77  
混声三部



横山潤子先生



各曲の演奏動画はこちら  
<https://www.youtube.com/playlist?list=PL1jOy1aqdKQAErx75nJKmAYjXxvm5Hnrq>



学期	題材名	題材の目標	教材名	学習目標 (教科書掲載)	学習指導要領の内容																扱い時間の目安 (計45)	道徳との関連 (例)						
					A表現						B鑑賞						(共通事項)											
					歌唱			器楽			創作			鑑賞			ア及びイ											
					ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	音色			リズム	速度	旋律	テクニク	強弱	形式
1学期	思いをこめて合唱しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	We'll Find The Way その先へ My Voice!	思いをこめて明るい声で合唱しよう。 作者のメッセージを受け止め、思いをこめて合唱しよう。	○	○	○																		3	B 友情, 信頼 C よりよい学校生活, 集団生活の充実		
	曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	主人は冷たい土の中に	曲の構成を感じ取って歌おう。	○	○	○																		2	D 生命の尊さ		
	曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。	◆聖者の行進 ◆リコーダー LESSON 1	曲想を感じ取って、表情豊かに演奏しよう。				○	○																2	A 向上心, 個性の伸長		
	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	◎春	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。										○												2	D 自然愛護	
	イメージと音楽との関わりを感じ取ろう	●音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ●音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を創意工夫して音楽をつくる。	◎ジョーズのテーマ 指揮をしてみよう! Let's Create!	イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう。 構成を工夫して、3つの場面の音楽をつくろう。																						4	A 真理の探究, 創造 D 感動, 畏敬の念	
2学期	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	朝の風に 君をのせて	パートの役割を感じ取って合唱しよう。 曲想を生かして合唱しよう。	○	○																				4	A 希望と勇気, 克己と強い意志	
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	◎魔王	曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう。																						2	D 感動, 畏敬の念	
	音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	●音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を創意工夫して音楽をつくる。	リズムゲーム, リズムアンサンブル, リズムチャレンジ My Melody	音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくろう。																						3	A 真理の探究, 創造	
	日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう	●音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ●声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	◎日本の民謡 生活や社会の中の音楽 ◎アジアの諸民族の音楽 ソーラン節	人々の暮らしの中から生まれた日本の民謡を聴こう。 アジア各地の音楽を聴こう。 声や音楽の特徴を生かして日本の民謡を歌おう。																							6	C 社会参画, 公共の精神 C 郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度 C 国際理解, 国際貢献
	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	浜辺の歌 (共通教材) 赤とんぼ (共通教材) 歌い継ごう 日本の歌	情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。 情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。	○	○	○																				3	C 家族愛, 家庭生活の充実 D 自然愛護
3学期	日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう	●曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	◎雅楽「平調 越天楽」	日本に古くから伝わる合奏を聴こう。																						3	C 我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度 D 感動, 畏敬の念	
	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	●音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ●楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。 ●音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を創意工夫して音楽をつくる。	◎箏曲「六段の調」 ◆虫づくし, 姫松, 「六段の調」から「四段」, さくらさくら (箏) ◆My Melody	日本に古くから伝わる箏の音楽を聴こう。 日本の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう。																						6	A 真理の探究, 創造 B 礼儀 C 我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度	
	曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	Let's Search For Tomorrow 心通う合唱	曲の構成や曲想の変化を生かして合唱しよう。	○	○	○	○																			5	A 自主, 自律, 自由と責任 D よりよく生きる喜び
			国歌「君が代」																									C 我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度

※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時間をご設定ください。

資料



学期	題材名	題材の目標	教材名	学習目標 (教科書掲載)	学習指導要領の内容																扱い時間の目安 (計35)	道徳との関連 (例)					
					A表現						B鑑賞						(共通事項)										
					歌唱			器楽			創作			鑑賞			ア及びイ										
					ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	音色			リズム	速度	旋律	テクニク	強弱
1学期	曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	夢の世界を リズムゲーム、リズムアンサンブル	拍にのって、響きのある声で合唱しよう。	○	○	○																		2	B 友情, 信頼	
	パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	翼をください My Voice!	パートの役割を理解して合唱しよう。	○	○	○																		2	A 希望と勇気, 克己と強い意志	
	音の重なり方や反復, 変化を理解して、創作表現を工夫しよう	●音楽材の特徴及び音の重なり方や反復, 変化, 対照などの構成上の特徴について理解するとともに、それらを生かしたままとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。	Let's Create!	構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう。						○	○	○													2	A 向上心, 個性の伸長 A 真理の探究, 創造	
	楽器の音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり, 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏する。	◆カントリー ロード, 大きな古時計 (ギター) ◆千の風になって	全体の響きを確かめながら演奏しよう。																					2	A 向上心, 個性の伸長	
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	◎交響曲第5番 八短調 指揮をしてみよう!	曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう。											○											2	D 感動, 畏敬の念
	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	夏の思い出 (共通教材) 荒城の月 (共通教材) サンタ ルチア	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。 歌詞と旋律が生み出す雰囲気味わいながら歌おう。 曲想を生かして表情豊かに歌おう。	○	○	○																			3	C 我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度 D 自然愛護
2学期	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	夏の日の贈りもの Joyful Joyful 生活や社会の中の音楽	旋律の動きを理解して合唱しよう。 曲想の変化を生かして表情豊かに歌おう。	○	○	○																		5	B 友情, 信頼 C 社会参画, 公共の精神	
	言葉の抑揚を生かして、創作表現を工夫しよう	●音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かしたままとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。	My Melody	言葉の抑揚を生かして旋律をつくろう。																					3	A 向上心, 個性の伸長 A 真理の探究, 創造	
	オペラに親しみ、その魅力を味わおう	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	◎「アイーダ」から	オペラに親しみ、その音楽を味わおう。											○										2	C 国際理解, 国際貢献	
3学期	歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう	●音楽の特徴とその背景となる文化や歴史, 他の芸術との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ●声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	◎歌舞伎「勸進帳」 長唄「勸進帳」から	歌舞伎に親しみ、その音楽を味わおう。 声や音楽の特徴を生かして長唄を唄おう。	○	○	○																		4	C 我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度	
	日本の郷土芸能や伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	●音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ●楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏する。	受け継ごう! 郷土の祭りや芸能 ◆ごきりこ (三味線) ◆荒城の月 (三味線)																						3	A 向上心, 個性の伸長 C 郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	
3学期	世界の様々な音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	●諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	◎世界の諸民族の音楽	世界のさまざまな声の音楽を味わおう。																					2	C 国際理解, 国際貢献	
	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	歌い継ごう 日本の歌 心通う合唱		○	○	○	○																	3	B 思いやり, 感謝 B 友情, 信頼 D よりよく生きる喜び	
国歌「君が代」					※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。																C 我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度						

資料





# 第3学年

〈2・3下〉

## 教材と学習指導要領との関連

◎や○は関連の強さを示しており、教科書p.8,9に示した内容に準じています。

頁	教材名	学習指導要領の内容															
		A 表現						B 鑑賞						（共通事項）			
		歌唱			創作			鑑賞						ア及びイ			
ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	音楽を形づくっている要素	用語や記号など	
10	花(共通教材)	◎	◎	○	◎	◎											○
16	花の街(共通教材)	◎	◎	○	◎	◎											○
20	早春賦(共通教材)	◎	◎	○	◎	◎											○
23	Amazing Grace	◎	◎	○	◎	◎											○
24	帰れソレントへ	◎	◎	○	◎	◎											○
26	きみとともに	◎	◎	○	◎	◎											○
28	Let It Be	◎	◎	○	◎	◎											○
30	My Melody				◎	◎											○
32	Let's Create!				◎	◎											○
34	ブルタバ(モルダウ)						◎	◎	◎	◎	◎						○
37	ポレロ						◎	◎	◎	◎	◎						○
42	尺八楽「巢鶴鈴慕」						◎	◎	◎	◎	◎						○
46	能「敦盛」						◎	◎	◎	◎	◎						○
48	謡「敦盛」から	◎	◎	◎	◎	◎											○
51	沖縄の伝統芸能「組踊」に親しもう						◎	◎	◎	◎	◎						○
52	伝統音楽の魅力を見つけよう						◎	◎	◎	◎	◎						○
56	世界の諸民族の音楽						◎	◎	◎	◎	◎						○
58	ポピュラー音楽						◎	◎	◎	◎	◎						○
64	ルールを守って音楽を楽しもう!																○
66	指揮をしてみよう!																○
70	花は咲く	○	○	○	○	○											○
71	椰子の実	○	○	○	○	○											○
72	ふるさと	○	○	○	○	○											○
74	忘れることなんかできない	○	○	○	○	○											○
77	この町が好き	○	○	○	○	○											○
80	旅立ちの日に	○	○	○	○	○											○
82	春に	○	○	○	○	○											○
86	大地讃頌	○	○	○	○	○											○
88	仰げば尊し	○	○	○	○	○											○
98	国歌「君が代」	○	○	○	○	○											○

# 器楽

## 教材と学習指導要領との関連

◎や○は関連の強さを示しており、教科書p.8,9に示した内容に準じています。

頁	教材名	学習指導要領の内容															
		A 表現						B 鑑賞						（共通事項）			
		器楽			創作			鑑賞						ア及びイ			
ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	音楽を形づくっている要素	用語や記号など	
10	聖者の行進	◎	◎	◎	◎	◎											○
12	千の風になって	◎	◎	◎	◎	◎											○
14	風にのって	◎	◎	◎	◎	◎											○
16	リコーダー	○		◎	◎	◎											○
32	ギター	○		◎	◎	◎											○
40	箏	○		◎	◎	◎											○
49	My Melody						◎	◎	◎	◎							○
50	三味線	○		◎	◎	◎											○
56	太鼓	○		◎	◎	◎											○
62	篠笛	○		◎	◎	◎											○
66	尺八	○		◎	◎	◎											○
70	打楽器	○		◎	◎	◎											○
76	Edelweiss	○	○	○	○	○											○
77	星の世界	○	○	○	○	○											○
78	春	○	○	○	○	○											○
79	I Got Rhythm	○	○	○	○	○											○
80	笑点のテーマ	○	○	○	○	○											○
81	海の見える街	○	○	○	○	○											○
82	美女と野獣	○	○	○	○	○											○
83	トリステーザ	○	○	○	○	○											○
84	ブルタバ(モルダウ)	○		○	○	○											○
86	大きな古時計	○	○	○	○	○											○
87	One Week	○	○	○	○	○											○
88	クラッピング ラブソディ 第1番	○	○	○	○	○											○
90	打楽器のための小品	○	○	○	○	○											○
92	MATSURI	○	○	○	○	○											○
94	「寄せの合方」によるリズムアンサンブル	○	○	○	○	○											○
96	楽器でMelody	○	○	○	○	○											○

## 📱 学習者用デジタル教科書

学習者用デジタル教科書が初登場！

生徒一人一人がタブレット端末などの学習者用コンピュータで使います。

「GIGAスクール構想」によるICT環境の変化にしっかりと対応します。

学習者用デジタル教科書は、紙の教科書の内容に下記の機能を加えたものです。

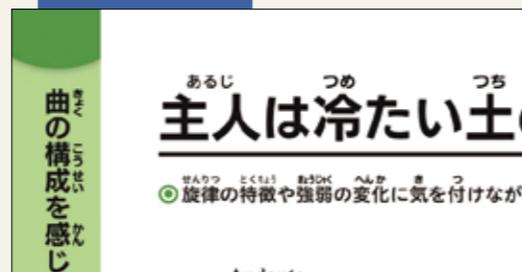
- 1 教科書画面の拡大・縮小\*
- 2 書き込み機能
- 3 二次元コードのリンク
- 4 他のデジタル教材やICT機器との一体的な利用
- 5 機械音声による読み上げ\*
- 6 白黒反転・背景色変更\*
- 7 総ルビ(振りがな)\*

\*は特別支援対応機能

### 書き込み機能



### 総ルビ ON



©PIXTA

※サンプルはこちら <https://textbook.kyogei.co.jp/r3/digital/taiken/>

## 🔍 拡大教科書

弱視の生徒たちのために作成された教科書です。

音楽を学習する上で、たいへん重要な要素である「楽譜」の見やすさや使いやすさを第一に考え、楽譜のまとまりを見渡せるように配慮したレイアウトを採用しています。

教育芸術社の拡大教科書は、教科書に掲載されている全ての要素を、見やすい大きさと配色によって、学習の順序を追いながら適切に配置しています。

特に、楽譜や歌詞、絵譜などを見やすく、かつ見通しをもって読み取ることができるように、29cm×29cmという判型を採用しているのが特徴です。

## 📖 指導書

様々な資料や音源、映像で、授業や学習活動を多角的にサポート！

指導書には今回から、指導者用デジタル教科書がセットされています。

### 全体構成

セット内容は下記のとおりです。詳細は次のページよりご覧ください。

- 1 書籍……実践編/研究編/伴奏編
- 2 CD……指導用CD/合唱練習用CD/鑑賞用CD
- 3 授業支援DVD
- 4 指導者用デジタル教科書(教材) ※DVD-ROM



書籍

● 中学生の音楽

1【実践編】	赤字入り教科書ページなど、指導に直接関わるポイントや留意点を、学習内容に沿って例示
2【研究編】	年間学習指導計画作成例、教材研究(教材解説、評価規準例、学習の流れの例)、鑑賞資料、参考資料など
3【伴奏編】	教材曲の伴奏譜、移調伴奏譜、参考曲など

● 中学生の器楽

1【実践編】	赤字入り教科書ページなど
2【研究・伴奏編】	指導事例(学習内容の例、評価規準例、学習の流れの例)、楽曲解説、参考資料、教材曲の伴奏譜、参考曲など

● 中学生の音楽

1【指導用CD】	全ての歌唱教材曲の範唱、伴奏(カラピアノ)、カラオケ(一部教材のみ)
2【合唱練習用CD】	合唱教材曲のパート別演奏(教科書版ONTA)
3【鑑賞用CD】	全ての鑑賞教材曲の演奏、鑑賞参考曲の演奏

\*『合唱練習用CD』は、教育芸術社の人気シリーズ『Chorus ONTA』の教科書版です。授業で活用するだけでなく、校内合唱コンクールの練習などにも便利なアイテムです。  
 \*『鑑賞用CD』は、グラモフォン、ロンドンなどの世界的レーベルの演奏のほか、優れた演奏音源を多数収録しています。また、鑑賞参考曲もたいへん豊富な内容で、発展的な授業を行うことを可能にしています。

● 中学生の器楽

1【指導用CD】	全ての器楽教材曲の範奏、伴奏(カラピアノなど)
----------	-------------------------

授業支援DVD

● 中学生の音楽

1【授業支援DVD】	日本の伝統的な歌唱の歌い方についての解説や指導、模範演奏の映像
------------	---------------------------------

● 中学生の器楽

1【授業支援DVD】	和楽器の演奏の仕方についての解説や模範演奏の映像
------------	--------------------------



プロの演奏家による実演を見ながら、活動することができます。

表示ソフトウェアは「まなビューア」を採用しています。

指導者が大型提示装置に映し出して使用します。教科書の紙面が大きく表示され、紙面の拡大や書き込みができるほか、音源や映像など様々なコンテンツが収録されています。

● 中学生の音楽

歌唱	楽譜や縦書き歌詞を単独で映し出すことができ、再生するパートを選択して模範演奏を聴くことができます。
創作	リズムをつくる学習では、選んだカードを移動し、再生することができるため、模範として生徒に見せることで、学習の見通しをもって活動に取り組むことができます。
鑑賞	教科書の譜例を大きく表示したり、その部分に対応する音源を聴いたりすることができます。

● 中学生の器楽

器楽	和楽器の教材では、楽器の演奏方法を解説した動画資料などを収録。リコーダーの教材では、楽譜と運指を大きく映しながら音と連動して動きます。
----	---

※サンプルはこちら <https://textbook.kyogei.co.jp/r3/digital/taiken/>

指導者用デジタル教科書(教材)

デジタル教科書 対応予定OS(指導者用, 学習者用共通)

ローカル方式: Windows10/8.1, iOS(iPad)  
 サーバーオンデマンド方式: Windows10/8.1, iOS(iPad), Google Chrome OS

# 検討の観点別に見た特色 | 中学生の音楽

## ● 教育基本法との関連

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
第一号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	● 英語の学習と関連付けられるように、英語で歌う教材を取り上げている。	1年p.38/2年p.32,33/3年p.23,28,29
	● 音符や休符を使った簡単なリズムの読み書きを確実に習得できるような教材が含まれている。	1年p.16,17/2年p.12,13
	● 他者を尊重し、自然を愛する心を育てることのできる教材や、道徳的観点と関連付けられる教材を取り上げている。	各学年歌唱教材のページ
第二号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	● 未来への希望をもつ内容の歌を通して、自らの能力を伸ばす態度を養えるよう工夫されている。	1年p.10-13/2年p.10,11,14,15/3年p.26,27
	● 旋律の音の進行の仕方や上行下行などに着目し、旋律をつくる活動によって創造性を培えるよう配慮されている。	1年p.21-23
	● 様々な楽器などの音色を工夫しながら音楽を構成する学習活動を通して、創造性を培えるよう配慮されている。	1年p.40,41
	● 言葉の抑揚や和音に着目して旋律をつくる活動を通して、創造性を培えるよう配慮されている。	2年p.36,37/3年p.30,31
	● 声やボディーパーカッションの音を使いながら、反復や変化などを用いて音楽を構成する学習活動を通して、創造性を培えるよう配慮されている。	2年p.38,39/3年p.32,33
● 音楽と職業との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができる。	3年p.68,69	
第三号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	● 各パートの役割を知り、その役割を一人一人が担うことを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう工夫されている。	1年p.30-37/2年p.14-16/3年p.23
	● 創作におけるグループ活動の中で、協働しながら学習を進められるような教材が含まれている。	1年p.40,41/2年p.38,39/3年p.32,33
	● 音楽が生活や社会の中で果たしている役割に気付く学習活動を通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう工夫されている。	1年p.58,66/2年p.68,72/3年p.68,69
第四号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	● 歌を通して我が国の美しい自然に対する思いを高められる教材と学習活動が設定されている。	1年p.24-29/2年p.18-23/3年p.10-15,20-22
	● 他者を尊重し、季節や自然、故郷を大切に思う心を育てることのできる教材を取り上げている。	1年p.68-71/2年p.74-79/3年p.70-73
	● 松任谷由実氏のメッセージや作品に触れ、「今」という時間に気付き、個人の価値や生命の尊さを学ぶことができるよう工夫されている。続く「音楽ってなんだろう？」では、音楽は時間とともにある芸術であることを学び、前ページの学習をより深められるよう配慮されている。	2年p.2-5(p.74,75)
	● 合唱曲「春に」の歌唱や、作者である谷川俊太郎氏と木下牧子氏の対談から創作の背景に触れ、真理を求める姿勢や豊かな情操、作品を生み出す創造性に対する憧れの気持ちを養えるよう工夫されている。続く「音楽ってなんだろう？」では、音楽は人間の様々な感情を表現する芸術であることを学び、前ページの学習をより深められるよう配慮されている。	3年p.2-5(p.82-85)
第五号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	● 狂言師、野村萬斎氏のインタビューを掲載し、我が国の伝統文化に親しみ、それらを尊重する態度を養えるよう工夫されている。	1年p.2,3
	● 音楽を通して多様性を学ぶとともに、他者や他国を尊重する姿勢を育むことができるよう配慮されている。	1年p.4,5/3年p.60-63
	● 我が国の民謡や伝統的な長唄、義太夫節、謡を歌唱教材として取り上げ、実感をもって我が国の伝統的な歌唱の学習を行えるよう配慮されている。	1年p.60,61/2年p.60,61,66/3年p.48,49
	● 我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、我が国の伝統的な音楽や郷土の音楽を明確な観点をもって学習できるよう工夫されている。	1年p.52-63/2年p.56-69/3年p.42-55
	● 他国を尊重する態度を育成するため、アジアや諸外国の様々な音楽を教材として取り上げている。	1年p.64,65/2年p.70,71/3年p.56-59
	● 我が国で長く歌い継がれている歌を通して、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるよう工夫されている。	1年p.68-71/2年p.74-79/3年p.70-73
● 国歌「君が代」だけでなく、他国の国歌も同じように尊重することを通して、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう工夫されている。	各学年p.98,99	

第2条との関連

## ● 学習指導要領との関連

	観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
範囲	取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	● 1年及び2・3年の目標と内容を踏まえて精選された教材によって、必要な範囲の内容が十分に、かつ無理なく取り扱えるよう構成されており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。	各学年目次、p.8,9及び各学年各ページ
	音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。	● 音楽活動を通して、無理なく音楽を形づくっている要素を捉えたり、それらを生かして表現や鑑賞の活動を進めたりできるように、教材は適切に配置され、学習のねらいは生徒に分かりやすく示されており、音楽と豊かに関わりながら、学校での学びと自らの生活をつなぐことができるよう配慮されている。 ● 生徒が音楽科の学習で得た音楽経験や知識を、学校生活や家庭、地域社会での生活に生かすことができるように、生活の中にある様々な音や音楽への関心を促す特集が配置されている。	各学年目次、各ページ 1年p.2-5,66/2年p.2-5,72/3年p.2-5,68,69
目標	「知識及び技能」の習得に関する目標の達成に向けて、工夫はなされているか。	● 曲想と音楽の構造などとの関わりについての気付きや理解を促す内容のキャラクターの吹き出しが適切に配置され、生徒にとって学習目標や学習活動との結び付きが分かりやすくなっている。	各学年各ページ
	「思考力、判断力、表現力等」の育成に関する目標の達成に向けて、工夫はなされているか。	● 学習活動を進める上で、知覚・感受したことをもとに「思考、判断、表現」を行うためのヒントをキャラクターの吹き出しで示すほか、思考した内容を記述する場面を設定したり、作品例やワークシートを掲載したりするなど、手順が分かりやすく、極めて適切なものとなっている。 ● 表現に対し思いや意図をもったり、音楽や演奏のよさを味わいながら聴いたりするために必要な情報が適切に示されている。	1年p.19,21-23,30,31,36,37,39-41,47,51/2年p.16,22,23,29,33,36-39/3年p.30-33,39,53,62 各学年各ページ
	「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関する目標の達成に向けて、工夫はなされているか。	● 1年間の学習の見通しをもつことができる「学びの地図」(学習内容の見取り)や、1年間の学習を振り返ることができる「音楽を形づくっている要素」のページのほか、「曲のよさをプレゼンしよう」のページが設けられ、生徒が主体的に学習に臨むことができるよう工夫されている。	1年p.8,9,67,93/2年p.8,9,73/3年p.8,9,89,96
	(共通事項)は、学習指導を進める上で適切に扱われているか。	● (共通事項)に示された音楽を形づくっている要素が、各教材の学習目標の下に示されており、適切に扱われている。 ● 学習内容をまとめた「学びの地図」には音楽を形づくっている要素が明示されており、各教材の学習目標及びそれに関わる学習の窓口となっている。指導計画作成の際にそれらを活用することにより、(共通事項)との関連が図れるよう配慮されている。	各学年各ページ 各学年p.8,9
指導上の配慮や工夫	生徒が意欲をもって主体的に学習を進められるよう、各教材において、目標とする学習内容やその方法、学習に必要な情報を明確に示すなど、適切に工夫されているか。	● 生徒が意欲をもって主体的に学習を進められるよう、各教材において、目標とする学習内容やその方法、学習に必要な情報を明確に示すなど、適切に工夫されている。 ● 生徒が意見を交流し、学びを深めることができるようキャラクターの吹き出しなどでヒントが示されているほか、専門家からのメッセージにより自分の考えをより広げたり深めたりすることができるよう配慮されている。	各学年各ページ 各学年各ページ
	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、配慮や取り組みはなされているか。	● 「深めよう!音楽」では、生徒が曲に対する自分の考えをもち、友達との交流を通して表現や鑑賞の学習を深めることができるよう工夫されている。 ● 巻頭の特集ページ、各鑑賞教材の資料や巻末の楽典事項などにより、生徒が興味・関心をもちながら主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。	1年p.19,30,31,36,37,47,51/2年p.16,22,23,29,33 各学年p.2-5/1年p.45,46,50,52-54,63,94-97/2年p.40,42,43,47-49,54-57,62,63,67,95-97/3年p.34,35,37,40,41,43-45,51,60-63,97
	言語活動の充実に向けた配慮はなされているか。	● 聴き取ったり感じ取ったりしたことをもとに思考、判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるよう、表現教材及び鑑賞教材においては、譜例や図版、吹き出しを用いて説明されており、それらを活用することで、言語活動の充実を図ることができるよう工夫されている。 ● 音楽を形づくっている要素を文字で示すことで、言語活動の充実を図っている。	1年p.21-23,30,31,37,40,41,47,51/2年p.17,23,29,33,36-39/3年p.30-33,38,39,54,55 各学年各ページ
	生徒が実感をもって学習を進めるための体験活動や体を動かす活動は、適切に設定されているか。	● 我が国や郷土の伝統音楽を学習する際に、生徒が親しみや実感をもって音楽に接することができるよう、歌ったり手を打ったりする体験活動が示されている。 ● 「指揮をしてみよう!」では鑑賞曲や歌唱曲を聴きながら指揮をしたり、指揮に合わせて手拍子を打ったり歌ったりすることにより、基礎を学びながら実感をもって豊かな音楽活動につなげることができるよう配慮されている。	1年p.55,60,61/2年p.60,61,66/3年p.48-50 1年p.42,43/2年p.50,51/3年p.66,67

資料

編集上の工夫や特色

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
教材は系統的・発展的に組織されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示されている各学年の目標及び内容を踏まえ、各学年、全学年を通して教材が系統的・発展的に組織されている。</li> <li>階名唱、合唱、創作などの系統は、小学校における学習状況や各学年の発達段階を考慮した無理のないものとなっている。</li> </ul>	各学年目次、p.8,9 及び各学年各ページ
小学校における学習内容との系統性・一貫性に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校学習指導要領の学習内容との系統性がしっかりと確保されており、義務教育9年間を通して音楽科の目標に迫る意味で、極めて適切な内容となっている。</li> <li>1年に小学校の基礎的な学習内容を確認するページが用意されているだけでなく、2年でも同様に繰り返して確認できるよう工夫されている。</li> </ul>	各学年目次、p.8,9 及び各学年各ページ  1年p.16,17/2年p.12,13
教材の配列は単なる羅列ではなく、楽曲の性格に即して適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の内容及び楽曲の性格に即して、ねらいを明確化した教材が適切に配列されている。</li> <li>関連する表現教材と鑑賞教材は、効果的な学習が期待できるよう配列されている。</li> <li>学習内容をまとめた「学びの地図」で1年間の学習の見通しをもつとともに、「音楽を形づくっている要素」のページにおいて各学年の重要な学習事項を生徒が自ら振り返って、確認することができる効果的な配列となっている。</li> </ul>	各学年目次、p.8,9 及び各学年各ページ  1年p.18:21-23,p.39:40,41/ 2年p.58-61,64-66/ 3年p.32,33:58,p.46-49  1年p.8,9,67/ 2年p.8,9,73/ 3年p.8,9,89
基礎的・基本的な学力の定着については、適切に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「リズムゲーム/リズムアンサンブル/リズムチャレンジ」「My Voice!」などのページでは、基礎的な学習内容を確認できるように工夫されている。</li> <li>巻末の充実した楽典事項や「音楽を形づくっている要素」のページにより、基礎的・基本的な内容の確認や反復学習ができるよう適切に配慮されている。</li> </ul>	1年p.14-17,20/ 2年p.12,13,17,23/3年p.19  1年p.67,94-97/2年p.73, 95-97/3年p.89,97
各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校や生徒の実態に応じて柔軟な指導計画を作成できるよう、教科書上では題材に束縛されないようになっている一方、学習内容をまとめた「学びの地図」や各教材においては題材設定のヒントとなる音楽を形づくっている要素が示されているなど細かい配慮がなされている。</li> </ul>	各学年目次、p.8,9 及び各学年各ページ
教材や文章の分量、バランス、内容は適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体を通して、過不足ない分量の教材が取り扱われ、各教材の学習内容が明確に示されるとともに、それに即した活動の具体的な手立てやヒントなどが分かりやすく適切に取り上げられるなど、目的に応じた扱い方の工夫がなされている。</li> <li>ねらいに即した学習内容や関連教材が有機的に組織されており、教材の学習活動の分量を弾力的に増減できるよう配慮されている。</li> <li>文章は生徒に分かりやすく丁寧かつ簡潔で文章量も適切なものとなっている。</li> </ul>	各学年目次、p.8,9 及び各学年各ページ
教材の選択及び扱いは、学習指導を進める上で適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>明確な学習の観点のもと幅広く変化に富んだ学習活動を行えるよう多様な教材が用意されており、生徒が意欲的に取り組めるよう適切に配慮されている。</li> <li>生徒の心情に即した教材が用意されており、興味・関心をもって学習を進めることができるよう配慮されている。</li> <li>共通教材は「心の歌」と題して明確に示されている。</li> </ul>	各学年各ページ  各学年各ページ  1年p.24-29/2年p.18-25/ 3年p.10-18,20-22
教材や学習活動の程度は、生徒の心身の発達段階や能力の実態に適応しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱教材においては、歌詞あるいは楽曲の内容が生徒の心情的な発達段階に沿ったものであり、かつ合唱の編成や各パートの音域についても学年に応じて極めて適切に考慮されている。特に1年では変声期の声域に対応できるよう作・編曲していたり、コラムを設けたりしており、学習を進める上で極めて適切である。</li> <li>鑑賞教材の取り上げ方は学年の実態に合わせて適切に配慮されている。</li> <li>創作の学習では、小学校の学習を継続、反復、発展させながら、生徒の発達段階に沿って系統的に内容が構成されている。</li> </ul>	各学年歌唱教材のページ 1年p.10-13,18-20,30-38  各学年鑑賞教材のページ  1年p.21-23,40,41/ 2年p.36-39/3年p.30-33
「創作」に関わる学習活動が適切に取り扱われているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校における「音楽づくり」の学習内容を踏まえながら、「My Melody」「Let's Create!」では学習指導要領に示されたイ(ア)及び(イ)いずれの事項からも、無理なく取り組める教材が分かりやすい手順で丁寧に示されている。</li> <li>授業時数や生徒の実態に応じて、弾力的な指導を展開できるよう配慮されている。</li> </ul>	1年p.21-23,40,41/ 2年p.36-39/3年p.30-33  各学年創作教材のページ

構成・配列・分量

教材の内容や程度

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
我が国の伝統や文化に関する教材の扱いにおいては、生徒が我が国や郷土の音楽に愛着をもてるよう配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い分野から教材を取り上げ、音楽のみならず文化的な側面からも総合的に捉えられるよう工夫されている。</li> <li>伝統芸能や民謡などは、実際に音楽の一部を体験したり、同世代の中学生の取り組みについて知ったりすることによって、生徒が興味・関心をもち、実感を伴って鑑賞や歌唱の学習に取り組めるようなねらいが設定されている。</li> </ul>	1年p.52-63/ 2年p.56-69/3年p.42-55  1年p.55,60,61/ 2年p.60,61,66/ 3年p.48-50,54,55
唱歌や長く親しまれてきた歌を含めた我が国の音楽文化に対する配慮はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「心の歌」と題した共通教材では、我が国の文化の視点から説明文や情景写真が用意されており、生徒が知的好奇心や感受性を働かせながら歌うことができるよう配慮されている。</li> <li>各学年に「歌い継ごう 日本の歌」として、唱歌や現在も様々な場で親しまれ歌い継がれている楽曲などが精選して取り上げられており、世代を超えて日本の音楽文化を共有することができるよう配慮されている。小学校の共通教材「ふるさと」が全校合唱としても扱える編曲で掲載されている。</li> </ul>	1年p.24-29/ 2年p.18-25/ 3年p.10-18,20-22  1年p.68-71/ 2年p.74-79/ 3年p.70-73
発展的な学習内容や他教科との関連、プログラミング教育について、適切な配慮はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示された事項以外の内容や、他教科との関連を図ることで、生徒の興味・関心・意欲を高めて学習を一層深めることができるよう、「この頃、日本では…!?!」、「耳でたどる音楽史」、能「敦盛」、「Edelweiss」や「Let It Be」、各特集などが適切に配置されている。</li> <li>創作の活動を通してプログラミング的思考を育成できるよう、適切に配慮されている。</li> </ul>	1年p.38,46,50,63/ 2年p.41-43,47,54,67/ 3年p.28,29,34,40,41, 46-50,90-95  1年p.21-23,40,41/ 2年p.36-39/3年p.30-33
国際理解、情報、環境、人権教育など、社会的及び道徳的教育課題の扱いは、適切に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱教材や鑑賞教材において、諸外国の音楽文化に対する理解を深められるよう、アジアや世界の音楽文化を扱った教材や原語を取り入れた教材などが適切に配置されている。</li> <li>心の触れ合いの大切さを味わえる歌唱教材を取り上げるなど、道徳との関連にも行き届いた配慮がなされている。</li> <li>音楽に関する知的財産権やインターネット上の音楽利用について、著作権を尊重する気持ちを育てるとともに、「なゼルールを守らなければいけないのか」という視点で分かりやすく説明されている。</li> <li>歌唱教材を通し環境保護について迫ることのできるコラムが掲載されている。</li> <li>国歌「君が代」と同じように、他国の国歌を尊重する態度を養い、国際理解にもつながるコラムが掲載されている。</li> </ul>	1年p.18,19,38,39,42-51, 64,65/2年p.30-33,40-55, 70,71/3年p.23-25,28,29, 34-41,56-61  1年p.10-13,34-37,68-92/ 2年p.10,11,74-94/ 3年p.23,26-29,70-88  1年p.93/3年p.64,65  2年p.21  各学年p.98,99
SDGsに関する記述はあるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsの説明とともに、日本人が音楽教育を通して開発途上国の教育環境改善に取り組む姿を紹介するなど、SDGsについて明確に取り上げられている。</li> </ul>	3年p.68,69
内容に誤りや粗雑なところはなく、楽譜や説明文、図版などは学習指導を進める上で適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽譜や文章などの記述に誤りはなく、文字の大きさ、楽譜の線の太さ及び音符の大きさや形など、細部にわたって行き届いた配慮がなされている。</li> <li>イラストや写真などについても粗雑なところはなく、音楽的感覚の育成や知的理解、学習活動の一助となるよう生徒の感性に即して適切に扱われている。</li> </ul>	各学年各ページ
ユニバーサルデザインへの配慮はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。</li> <li>文章や歌詞、楽譜などの近くにイラストや写真を配置する場合には、学習上必要な情報に確実に注目することができるよう、シンプルなデザインが採用されており、学習障害などをもつ生徒への配慮も行き届いている。</li> <li>全体の9割以上でユニバーサルデザインフォントが使用されており、誰もが読みやすい文章や楽譜となるよう配慮されている。</li> </ul>	各学年各ページ
全体の体裁は教科書として適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>A4変形判の紙面は左右にゆったりとして、楽譜や歌詞が見やすい上、レイアウトも美しく統一感がある。楽曲と学習する内容との関係も分かりやすく示されているなど、教科書として極めて適切なものとなっている。</li> <li>表紙は生徒にとって親しみやすく、生活や社会の中の音や音楽を意識できる内容となっている。</li> </ul>	各学年各ページ  各学年表紙
印刷・製本などは適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ページにわたって4色刷りで、文字・イラスト・写真など印刷の発色もよく、鮮明なものとなっている。楽譜を見やすくするために黒色が光らないよう工夫されている。</li> <li>製本は開きがよく、長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。</li> <li>再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境にも十分配慮されている。</li> </ul>	各学年全ページ

表記・体裁・装丁

資料

# 検討の観点別に見た特色 | 中学生の器楽

## ● 教育基本法との関連

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
第一号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	● 器楽の活動を通して、音楽科の学力を高めることのできる教材を配置し、学習手順が分かりやすく示されている。	p.10-15
	● 各楽器の特徴や基本的な奏法を理解できるよう、分かりやすい写真と丁寧な説明文で示されている。	p.16-74
	● 様々なジャンルの名曲の旋律をリコーダーや和楽器などで演奏することを通して、それらに親しめるよう工夫されている。	p.96-99
	● 他者を尊重し、道徳的観点と関連付けられる教材を取り上げている。	p.10-15,76-95
第二号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	● 生徒一人一人の創造性を育成するために、創作の学習内容が示されている。	p.49
	● プロの演奏家のメッセージなどを通して、音楽と職業との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができる。	p.2,3,40,50,56,62,66
第三号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	● グループ活動の中で、協働しながら学習を進められるような教材が含まれている。	p.10-15,76-95
	● 各パートの役割を知り、その役割を一人一人が担うことを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう工夫されている。	p.12-15
第四号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	● 人が楽器を演奏するという事について社会とのつながりの中で理解することができるよう工夫されている。	p.2-5
	● 沖縄を拠点に、自然体な言葉で平和を願うメッセージを発信しているバンド、MONGOL800を楽曲とともに紹介し、郷土愛とともに生命の尊さを学ぶことができるよう工夫されている。	p.75
第五号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	● 和楽器を活用した学習活動を通して、我が国の伝統的な音楽に親しみ、そのよさを味わえるよう配慮されている。	p.40-69
	● 諸外国の音楽で使用する楽器を紹介し、それらを用いる音楽により親しめるよう工夫されている。	p.16-39,70-74
	● 我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、我が国の伝統的な音楽やその手法を用いた教材が掲載されている。	p.92-95
	● 我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、我が国の伝統的な音楽に使われている楽器が分類されて示されている。	p.69
	● 和楽器を演奏している中学生の姿を紹介することによって、我が国の伝統的な音楽や楽器への親しみをもてるよう工夫されている。	p.107
● ピアニスト、反田恭平氏のインタビューを掲載し、楽器を通して音楽文化に親しみ、それらを尊重する態度を養えるよう工夫されている。	p.2,3	

第2条との関連

## ● 学習指導要領との関連

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ	
範囲	取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	● 教科及び各学年の目標と内容を踏まえて精選された教材によって、必要な範囲の内容が十分に、かつ無理なく取り扱えるよう構成されており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。	目次、p.8,9 及び各ページ
目標	音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。	● 音楽活動を通して、無理なく音楽を形づくっている要素を捉えたり、それらを生かして器楽や創作の活動を進めたりできるよう、教材は適切に配置され、学習のねらいは生徒に分かりやすく示されており、音楽と豊かに関わりながら、学校での学びと自らの生活をつなぐことができるよう配慮されている。	目次、各ページ
	「知識及び技能」の習得に関する目標の達成に向けて、工夫はなされているか。	● 生徒が音楽科の学習で得た音楽経験や知識を、学校生活や家庭、地域社会での生活に生かすことができるように、生活の中にある様々な音や音楽への関心を促す特集が配置されている。	p.2-5,56,62,69,107
	「思考力、判断力、表現力等」の育成に関する目標の達成に向けて、工夫はなされているか。	● 曲想と音楽の構造などとの関わりについての気付きや理解を促す内容のコラムや「Q&A」、キャラクターの吹き出しが適切に配置され、生徒にとって学習目標や学習活動との結び付きが分かりやすくなっている。	各ページ
	「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関する目標の達成に向けて、工夫はなされているか。	● 学習活動を進める上で、知覚・感受したことをもとに「思考、判断、表現」を行うためのヒントをキャラクターの吹き出しで示すほか、思考した内容を記述する場面が設定されており、実際に演奏して確かめるなど、極めて適切なものとなっている。	p.10-15
〔共通事項〕	（共通事項）は、学習指導を進める上で適切に扱われているか。	● 「深めよう！音楽」などのコラムでは、表現活動を通して思考力・判断力を育む場面も設定されている。	p.11,13,15
		● 表現に対し思いや意図をもったり、自分や人の演奏のよさを味わいながら聴いたりするために必要な情報が適切に示されている。	各ページ
指導上の配慮や工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、配慮や取り組みはなされているか。	● 器楽の学習の見通しをもつことのできる「学びの地図」（学習の見取り）が設けられ、生徒が主体的に学習に臨むことができるよう工夫されている。	p.8,9
	言語活動の充実に向けた配慮はなされているか。	● （共通事項）に示された音楽を形づくっている要素が、アンサンブルセミナーや創作の学習目標の下に示されており、適切に扱われている。	p.10-15,49
指導上の配慮や工夫	生徒が実感をもって学習を進めるための体験活動や体を動かす活動は、適切に設定されているか。	● 学習内容をまとめた「学びの地図」には音楽を形づくっている要素が明示されており、各教材の学習目標及びそれに関わる学習の窓口となっている。指導計画作成の際にそれらを活用することにより、（共通事項）との関連が図れるよう配慮されている。	p.8,9
		● 生徒が意欲をもって主体的に学習を進められるよう、各教材において、目標とする学習内容やその方法、学習に必要な情報を明確に示すなど、適切に工夫されている。	各ページ
		● 生徒が意見を交流し、学びを深めることができるよう、「知識・技能」に関するコラムや「Q&A」、キャラクターの吹き出しなどでヒントが示されているほか、専門家からのメッセージにより自分の考えをより広げたり深めたりすることができるよう配慮されている。	各ページ
		● 「深めよう！音楽」では、生徒が曲に対する自分の考えをもち、友達との交流を通して器楽の学習を深めることができるよう工夫されている。	p.11,13,15
		● 巻頭の特集ページ、巻末の楽典事項や各種の資料などにより、生徒が興味・関心をもちながら主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。	p.2-5,69,75,100-107
	● 聴き取ったり感じ取ったりしたことをもとに思考、判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるよう、器楽教材においては、譜例や図版、吹き出しを用いて説明されており、それらを活用することで、言語活動の充実を図ることができるよう工夫されている。	p.11,13,15,49	
	● 音楽を形づくっている要素を文字で示すことで、言語活動の充実を図っている。	各ページ	
	● 和楽器を学習する際に、生徒が親しみや実感をもって音楽に接することができるよう、唱歌や口三味線を歌う活動が示されている。	p.46,48,55,59-61,64,65,68,92-95	

資料

編集上の工夫や特色

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
小学校における学習内容との系統性・一貫性に配慮されているか。	● 小学校学習指導要領の学習内容との系統性がしっかりと確保されており、義務教育9年間を通して音楽科の目標に迫る意味で、極めて適切な内容となっている。	目次, p.8,9 及び各ページ
教材の配列は単なる羅列ではなく、楽曲の性格に即して適切であるか。	● 様々な楽器及び楽曲の特徴に合った、効果的な選曲や配列がなされており、極めて適切である。	目次, p.8,9 及び各ページ
	● 学習指導要領の内容及び楽曲の性格に即して、ねらいを明確化した教材が適切に配列されている。	目次, p.8,9 及び各ページ
	● 学習内容をまとめた「学びの地図」で器楽の学習の見通しをもつことができるよう工夫されている。	p.8,9
基礎的・基本的な学力の定着については、適切に配慮されているか。	● 楽器の奏法などについては適切な文章とイラスト、写真を用いて解説されており、楽器の基礎的な技能の習得に配慮されている。	p.16-74
	● 「深めよう！音楽」「Q&A」や各所のコラムでは、小学校で身に付けたことや、音色などの基礎的な学習内容を確認し、繰り返し学習できるよう工夫されている。	p.11,13,15,18,22-24,27, 34,36,43,44,54,59,67,72
各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮はなされているか。	● 各学校や生徒の実態に応じて柔軟な指導計画を作成できるよう、教科書上では題材に束縛されないようになっている一方、学習内容をまとめた「学びの地図」や各教材においては題材設定のヒントとなる音楽を形づくっている要素が示されているなど細かい配慮がなされている。	目次, p.8,9 及び各ページ
	● 学習内容をまとめた「学びの地図」においては学習指導要領に示されている器楽の学習内容や音楽を形づくっている要素が示されているなど細かい配慮がなされており、指導計画を立てる上で適切なものとなっている。	p.8,9
	● 様々な楽器編成に対応できるよう編曲上の工夫がなされており、極めて適切なものとなっている。	p.10-15,80-82,90,91,94,95
教材や文章の分量、バランス、内容は適切であるか。	● 各楽器がバランスよく取り上げられており、それらを用いた楽曲についても過不足なく扱われている。	目次, p.8,9 及び各ページ
	● 全体を通して、過不足ない分量の教材が取り扱われ、各教材の学習内容が明確に示されるとともに、それに即した活動の具体的な手立てやヒントなどが分かりやすく適切に取り上げられるなど、目的に応じた扱いの工夫がなされている。	
	● 文章は生徒に分かりやすく丁寧かつ簡潔で文章量も適切なものとなっている。	
教材の選択及び扱いは、学習指導を進める上で適切であるか。	● 明確な学習の観点のもと幅広く変化に富んだ学習活動を行えるよう多様な教材が用意されており、生徒が意欲的に取り組めるよう適切に配慮されている。	各ページ
	● リコーダー、ギター及び箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八の5種類の和楽器、打楽器が豊富な写真を用いて扱われており、生徒の主体性を引き出す工夫がなされている。	p.16-74
	● 演奏家の写真やメッセージなどが豊富に掲載され、楽器への興味・関心・意欲を高めるために極めて適切な内容となっている。	p.2,3,40,50,56,62,66
	● 楽曲の内容は、生徒の心情に合ったものが、様々な習熟度に応じた編曲で取り上げられており、極めて適切である。	各ページ
教材や学習活動の程度は、生徒の心身の発達段階や能力の実態に適応しているか。	● 各楽器のページにおいては、生徒の実態に合わせて基礎的な技能を習得できるよう、きめ細かな配慮がなされている。	p.16-74
「創作」に関わる学習活動が適切に取り扱われているか。	● 小学校における「音楽づくり」の学習内容を踏まえながら、箏を用いて無理なく行える創作の活動が設定されている。手順も丁寧に示されており、極めて適切なものとなっている。	p.49

構成・配列・分量

教材の内容や程度

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
我が国の伝統や文化に関する教材の扱いにおいては、生徒が我が国や郷土の音楽に愛着をもてるよう配慮されているか。	● 和楽器のページにおいては、楽器の奏法に関するだけでなく、姿勢や礼儀などについてのコラムも掲載され、適切に配慮されている。また導入として各楽器を用いた鑑賞曲も取り上げられており、我が国の伝統的な音楽文化の理解という観点から極めて適切なものとなっている。	p.40-69
	● 和楽器を用いた平易なアンサンブル曲や、生徒にとって親しみやすい曲が取り上げられており、我が国の伝統音楽のよさを主体的に味わえるよう配慮されている。	p.92-95,98,99
	● 巻末の資料では、同世代の中学生による和楽器の演奏写真が取り上げられており、和楽器を一層身近なものとして捉えることができるよう工夫されている。	p.107
発展的な学習内容について、適切な配慮はなされているか。	● 学習指導要領に示された事項以外にも、生徒の興味・関心・意欲を高めて学習を一層深めることができるよう、「バンドの世界をのぞいてみよう」を掲載しており、極めて適切に配慮されている。	p.75
国際理解、情報、環境、人権教育など、社会的及び道徳的教育課題の扱いは、適切に配慮されているか。	● 様々なアンサンブル活動を通して、協働しながら学習を進められるほか、箏のページにおいては、「姿勢と礼儀」についても触れているなど、適切に配慮されている。	p.10-15,42,76-95
	● 諸外国の音楽文化に対する理解を深められるよう、様々な国の楽器や楽曲を取り上げている。	p.4,5,16-39,70-74,76-79, 82-86,96,97,101,104,105
『中学生の器楽』と『中学生の音楽』の内容は、連携を図れるよう配慮されているか。	● 歌唱教材、鑑賞教材で扱われている作品を、実際に楽器で演奏することで連携が図れるよう、適切に配慮されている。	p.30,46,76,78,84,85,99
	● 巻頭の特集、巻末の楽典事項、「深めよう！音楽」、「My Melody」などのページは、『中学生の音楽』と同様の体裁で統一感をもたせるなど、全体に連携して使用しやすいよう工夫されている。	p.2-15,49,106
内容に誤りや粗雑なところはなく、楽譜や説明文、図版などは学習指導を進める上で適切であるか。	● 楽譜や文章などの記述に誤りはなく、文字の大きさ、楽譜の線の太さ及び音符の大きさや形など、細部にわたって行き届いた配慮がなされている。	各ページ
	● イラストや写真などについても粗雑なところはなく、音楽的感覚の育成や知的理解、学習活動の一助となるよう生徒の感性に即して適切に扱われている。	
	● 楽譜は全体的にたいへん見やすく、和楽器においては、和楽器固有の記譜法を掲載するなど、様々な指導実態に適應できるよう配慮されている。	
ユニバーサルデザインへの配慮はなされているか。	● 説明文は簡潔かつ明瞭であり、全体にわたって美しく分かりやすい写真や図版が豊富に用いられているため、学習指導を進める上で極めて効果的である。	各ページ
	● 全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。	
	● 文章や楽譜などの近くにイラストや写真を配置する場合には、学習上必要な情報に確実に注目することができるよう、シンプルなデザインが採用されており、学習障害などをもつ生徒への配慮も行き届いている。	
全体の体裁は教科書として適切であるか。	● 全体の9割以上でユニバーサルデザインフォントが使用されており、誰もが読みやすい文章や楽譜となるよう配慮されている。	各ページ
	● A4変形判の紙面は左右にゆったりとして、楽譜や歌詞が見やすい上、レイアウトも美しく統一感がある。楽曲と学習する内容との関係も分かりやすく示されているなど、教科書として極めて適切なものとなっている。	
	● 表紙は生徒にとって親しみやすく、生活や社会の中の音や音楽を意識できる内容となっている。	表紙
印刷・製本などは適切であるか。	● 全ページにわたって4色刷りで、文字・イラスト・写真など印刷の発色もよく、鮮明なものとなっている。楽譜を見やすくするために黒色が光らないよう工夫されている。	全ページ
	● 製本は開きがよく、長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。	
	● 再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境にも十分配慮されている。	

教材の内容や程度

表記・体裁・装丁

資料